

CLA journal



■特集/2007年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 (CLA 賞)

Special Edition : CLA AWARD 2007

社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

基本理念

我々の使命は、新たな環境認識のもとに、人と自然との関係を科学的、芸術的に把握し、環境と調和・融合した新しい秩序づくりに積極的に挑戦することによって、安全で豊かな環境の創出、すなわち、「みどりの環境文化」の形成に寄与することです。

1. ランドスケープアーキテクチャーの専門家集団

我々は、日本におけるランドスケープアーキテクチャーの思想と技術を継承し、発展させるために組織された専門家集団です。

2. 新しい技術の開発と研鑽

我々は、来たるべき21世紀の社会に対する責任を十分認識し、技術の高度化と多様化に対応した新しい技術の開発と研鑽を推進し、技術競争の時代に対応します。

3. 社会的信頼の獲得

我々は、社会的倫理観のもとに、公正な技術競争を通し、内外の要請にも応えられる自立した職能として社会的信頼を獲得すべく行動します。

4. 開かれた技術団体

我々は、内外の関連技術者との交流を通して、協調関係を積極的に推進し、多様な価値観を内包する開かれた技術団体として広く展開します。

5. 魅力ある創造的職能

我々は、経営体質の向上と安定を図ることによって、魅力ある創造的職能として広く社会から信頼されることをめざします。

平成7年5月
「新しい環境文化の創造—造園コンサルタントビジョン—」より

目 次

特集：2007年ランドスケープコンサルタンツ協会賞（CLA 賞）

| | |
|--|----|
| ■最優秀賞 | |
| 【一般部 調査・計画部門】 | |
| 愛・地球博 バイオラング ～緑化に関わる全体サポート～ | 2 |
| ■優秀賞 | |
| 【一般部 設計部門】 | |
| 多摩平団地 森の再生整備設計 | 4 |
| 身近な水辺の自然環境の保全・創造 水元公園水産試験場跡地 | 6 |
| 六甲道南公園 | 8 |
| 【テーマ部 設計部門】 | |
| 自然との調和と地域活性化を図る都市公園 | |
| 西の久保公園（花しょうぶ園・自然生態園） | 10 |
| 【一般部 調査・計画部門】 | |
| 都市近郊の「農」の環境保全に向けた提言 | |
| —「多摩地域の里地里山の保全に関する調査研究」より— | 12 |
| 【一般部 表現・活動部門】 | |
| 浦安東地区2号近隣公園ワークショップ・実施設計 | |
| およびイベント企画・運営について | 14 |
| 公園管理支援システムの開発と構築 | 16 |
| お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で | 18 |
| ■奨励賞 | |
| 【一般部 設計部門】 | |
| 猿島公園 SARUSHIMA PARK | 20 |
| 【テーマ部 設計部門】 | |
| 東三河ふるさと公園 | 22 |
| 【テーマ部 調査・計画部門】 | |
| 景観の経済価値評価手法検討とケーススタディ | |
| —石川県における眺望景観のもたらす経済効果の試算— | 24 |
| ■特別賞 | |
| 【一般部 設計部門】 | |
| 2006年チェンマイ国際園芸博覧会（ロイヤルフローラーチャブルック2006） | |
| 日本国出展 屋外展示出展「日本庭園」 | 26 |
| 【テーマ部 設計部門】 | |
| 第23回全国都市緑化おおさかフェア「西の丸地区」“もてなしの花座敷” | 28 |
| 【テーマ部 表現・活動部門】 | |
| 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）の構築 | 30 |
| ■受賞技術者プロフィール | |
| 32 | |
| ■CLA 賞の趣旨と募集・選考のあらまし | |
| 36 | |

支部活動報告／37
 会員名簿／40
 お知らせ／35, 44
 編集後記／44

表紙の Photo Story

2005年愛・地球博覧会場内に設置された大規模壁面緑化実験施設「バイオラング」。

「特殊緑化技術の導入手法の検討」「都市環境改善効果に関する計測調査」等をもとに、都市における環境負荷の低減を実現する新しい環境技術としての提案が多数盛り込まれている。博覧会にふさわしい演出性も持ち、会場の魅力を高めるランドスケープの創出を実現した。



愛・地球博 バイオラング ～緑化に関わる全体サポート～

株式会社環境・グリーンエンジニア

杉浦 力・狩谷達之・中島 誠・宮田文徳・小林哲央・鈴木 良

□ 作品の概要

バイオラングは“生物生命”を表すバイオと“肺”を表すラングという2つの言葉を掛け合わせた造語で、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」のシンボル施設として設置された世界最大級の自立型緑化壁面である。日本に古来より発達した高生垣にヒントを得て、生物生命の高密度な集積により、水と光と空気の新たな循環を生み出し、快適な都市の微気象を創造する未来型の装置として提案した。

具体の整備方針は、以下の通り。

①都市の環境圧低減に効果が期待される新たな環境

技術として提案する。

②愛・地球博を象徴するランドスケープを博覧会場
の中心、センターゾーンに生み出し、博覧会来場
者に大きな感動と驚きを提供する。

③都市緑化の社会実験モデルとして、各種壁面緑化
の技術提案と、その環境改善効果等の実証的把握
を行う。

そのデザインは、日本独自の人と自然の関わり方を
踏まえ、多様性・多層性をモチーフとし、庭から里、
里から里山、そして奥山へと移り変わる「人と自然」
の多様・多層・多彩な構造を、緑化壁の垂直面とその



愛・地球広場からバイオラングを正面に望む

作品概要

作品名：愛・地球博 バイオラング
 対象地：愛知県愛知郡長久手町
 発注：財都市緑化技術開発機構
 事業目的：壁面緑化の普及推進や技術開発等と目的として、愛・地球博長久手会場内に大規模壁面緑化実験施設「バイオラング」を計画設計した。実験施設において都市環境改善効果の計測・調査を行い、その結果から壁面緑化がもたらす都市環境の改善効果に関する評価や技術開発の方向性などを行うものである。
 事業体制：事業実施に際しては、涌井雅之氏を中心とするバイオラング実行委員会の指導・調整の元に、広報運営を㈱大広、躯体設計を㈱栗生総合計画事務所、緑化計画・設計を当社が実施した。
 協働者等：㈱栗生総合計画事務所(建築設計)、㈱ウォーターデザイン、(有)パーキーカンパニー、(有)緑花技研
 事業期間：平成14年12月27日～平成18年2月28日
 事業規模：幅50 m、高さ15 m(タワー部25 m)、緑化総面積3,500 m²、導入植物約200種・20万株

作品評

本作品は、2005年愛・地球博覧会場内に設置する大規模壁面緑化実験施設「バイオラング」の計画・設計を行ったものである。
 業務内容は様々な関係者との調整を図りつつ「特殊緑化技術の導入手法の検討」や「都市環境改善効果に関する計測調査」など、長期間かつ多岐にわたっており、都市における環境負荷の低減を実現する新しい環境技術としての提案がなされている。また、バイオラングは博覧会にふさわしい演出性を持ったものとなっており、会場の魅力を高めるランドスケープの創出を実現している。
 本作品においては、総合的な技術力のみならず、その先駆性、トピック性、発展性など様々な点において高く評価された。本業務におけるすばらしい成果を、社会にさらにアピールしていくことが必要であり、今後、資料や実験データの公表などにより、都市緑化における多様な可能性を広く発信されることを期待したい。(菊谷 隆)

列構成の中に組み込んだ。また、バイオラング全体のシンボルとして中央部にタワーを設置し、頂上部に日本の照葉樹林の美しさを象徴する「天空の杜」「鎮守の杜」を表現し、タワー下部はツル植物を活用した「天空の杜の根」を表現して、有機的なラインを持った緑化デザインの展開を図った。

基本構造は、積層するスクリーンとタワーの構成により「多様性」と「多層性」を表現した。スクリーンは鉄筋を活用したモジュールシステムにより、汎用性

の高い自立構造壁とした。1500×1500の建築モジュールに対応し、1350×1350を基本サイズとした緑化パネルを設計し、パネルの厚さは250 mm 以内、重量は200 kg/m² 以内とした。個々のパネルは溝型鋼へのボルト固定方式を採用した。

バイオラングは、半年という限られた期間内であったが、今後は、このような壁面緑化が、より長期的あるいは永続的な都市装置として普及していくことが望まれる。



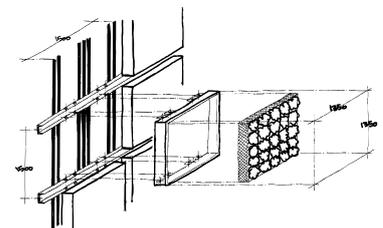
バイオラング立面図



バイオラングコリドーからバイオラングタワーを望む



バイオラングタワーからバイオラングコリドーを望む



壁面緑化パネルシステム



バイオラングスクリーン (C面)



多摩平団地 森の再生整備設計

株式会社グラック 白井浩司・高橋 彩・八色宏昌

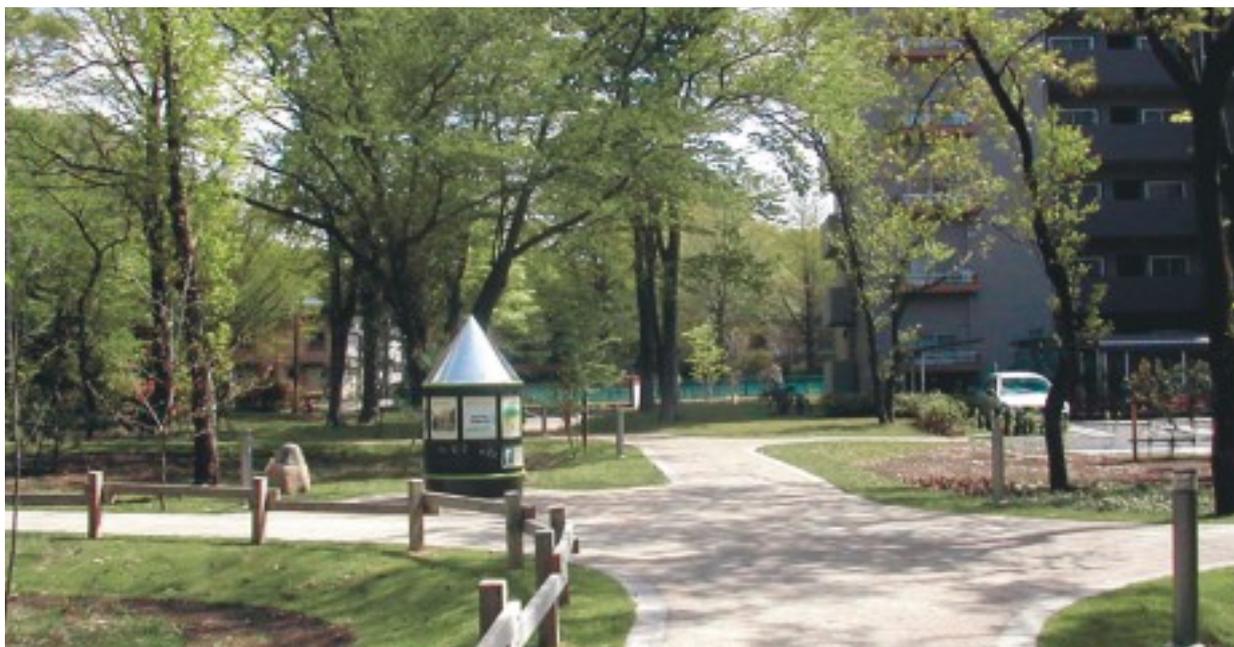
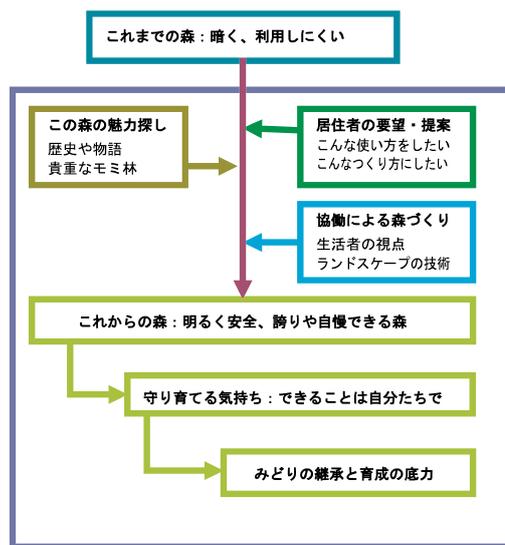
□ 森の課題

JR 中央線豊田駅の北側に立地する多摩平団地(現団地名称：多摩平の森)周辺では、駅前の高層・高密度が進んでいる。そうした状況において、昭和32年に建設された当団地のみどりは貴重な存在となっている。なかでも団地のほぼ中央に位置する約1.0 ha の多摩平の森は、団地建設以来約50年を経過して大きく生長し、周辺地域のみどりの中心となっている。しかし一方でみどりの過生長は、暗い、きたない、怖い状況を招き、居住者にとっては身近でありながら生活からは遠い存在となっていた。

□ 森の整備目標

団地の建替えに伴う一連の造園計画検討のなかで、この土地や団地の歴史を紐解き、森の植生調査を行った。その調査によりこの森には作家三浦綾子氏の小説『氷点』に登場する人物のモデルとなった「ストーン牧師」のエピソードがあること、この森の61本のモミノキは一団として残るモミ林としては東京周辺では非常に貴重な植生であることがわかった。この2つは、団地づくりのワークショップで紹介され、この森にしかない大切な価値として共有化され、誇りや親しみが居住者に生まれた。その結果、明るく安全、団地の誇りとなるような「未来に伝える森づくり」が、森の再整備の目標として定められ、その後「森を育てる、森とふれあう、みんなで作る」を視点にした森の整備に関する「12の提案」が居住者から提出された。

■ 未来に伝える森づくりのフロー



明るく・安全・快適な整備後の森

作品概要

作品名：多摩平岡地森の再生整備設計
 所在地：東京都日野市多摩平四丁目
 事業者：㈱都市再生機構 東日本支社
 設計：㈱グラック
 設計協力：㈱和計画コンサルタント
 (㈱タム地域環境研究所)
 施工：ヤハギ緑化㈱
 設計期間：平成16年2月～平成16年7月 (実施設計)
 施工期間：平成17年4月～平成18年2月
 規模：約1.0 ha
 設計内容：主な既存樹木活用 (モミ, アカマツ, クロマツ, ヒノキ, カツラ)
 新規植栽 (イヌシデ, エゴノキ, クヌギ, ムラサキシキブなど)
 木製デッキ, ゲート, サイン, モニュメント, 小端積ウォール

作品評

昭和30年から40年代に建てられた集合住宅は、経年による老朽化、生活スタイルの変化による機能低下等による建て替えが進められており、本物件もその一つである。
 本件は、従来型の事業性を重視した建替計画とは異なり、建設以前からの「歴史」、住む人々が創り上げてきた「環境」「愛着」をワークショップにより昇華させ具現化することで、今後につながる森の再生、地域における緑のネットワーク形成の実現に方向性を示したことで、新たな集合住宅地のコミュニティ形成に果たした役割は大きいと評価された。
 再生された森が住民の活動の場として利用され、維持管理されていることは、その証といえる。(藤江 哲也)

森の再生整備設計

実施設計では生活者の視点(「12の提案」)を踏まえ、この森の価値(ストーン牧師の物語性、モミの植生保全)を高め、居住者が日常の生活の中で身近に感じられる森であることを最大のテーマに、以下のような整備を行った。

- 森の植生を伝える：貴重なモミ林と実生のモミを保護するため、保護エリアには木柵を設け、モミ林の中は木道デッキを利用して散策ができるようし、保全と利用の調和を図った。
- 森の価値を伝える：南北の森の入り口にはゲートとサインをセットにして設けた。ゲートは特別な場所の入り口を象徴しており、ゲートをくぐって森に入る行為により、この森を大切に利用する意識につながるようデザインされている。ゲートの脇にはこの森の価値と利用のルールを具体的に案内している。散策園路の途中には小さな子供でも興味をもてるよう紙芝居をアレンジしたサインが設置してある。
- 森の利用を広げる：森はただ守るだけでなく、楽しんで利用できるよう工夫されている。森の中ではおしゃべりやお弁当が食べられるような野外卓が設けてあり、自転車や車椅子でも立ち寄れるテーブルも園路そばに設けてある。森の中心にはモニュメントを兼ねた遊びの装置として巨石をひとつ配してある。



林床保護のための木製デッキ通路



森のモニュメントとなる巨石



森の領域を示すゲート



森の自然や歴史を紹介したサイン



森の物語を紹介したサイン



恒例化した森の中のコンサート



森の中で、ランチタイム



車椅子でも安心して利用できる森



身近な水辺の自然環境の保全・創造 水元公園水産試験場跡地

株式会社愛植物設計事務所

山本紀久・趙 賢一・藤田泰介・板垣範彦・佐藤 力・大塚生美

□対象地の概要

整備の対象地である東京都水産試験場は、平成9年5月に港区に移転し、その跡地は水元公園の一部として整備開放されることとなった。対象地は人工的な養魚池の並ぶ場所であるが、都天然記念物に指定されているオニバスが生育しているなど、貴重な水辺の生物資源を保有している。

□コンセプト

対象地の整備の目標を「身近な水辺の自然環境の保全・創造」とし、「Ⅰ 喪失が進んでいる水辺の野生動植物の保護と回復」「Ⅱ 豊かな四季の変化を体験できる美しい水郷景観」「Ⅲ 水辺の動植物とだれもが身近にふれあい、知ることのできる仕組み」の3つのコンセプトを設定した。

□設計方針

上記の3つのコンセプトを具体化するために、以下

の方針を設定し、実践した。

- ①水元公園を都内全域の多様な環境ネットワークの核のひとつとして位置付けるとともに、対象地に隣接する地域の多様な生物が移動しやすいような、水と緑の連続したネットワークをつくる。
- ②水辺の自然環境を保全・創造するために利用者の入園を制限する区域を定める。
- ③養魚池と単純な植生とで構成されている環境を、水面、水生植物、草地、水辺林を組み合わせることで多様な動植物が生息できる環境に改修する。とくに、水中から水際線に至るまでの地形に変化を持たせ、広い「湿地」をつくる。
- ④矩形の養魚池の形態を部分的に残したり金魚の飼育を葛飾区の協力により維持していくなど歴史文化を継承する。
- ⑤造成区域には移植やシードバンクの手法で環境を



小合溜湿地復元ゾーン（'06.9写真上整備後）（'00.2写真左整備前）

作品概要

作品名：水元公園水産試験場跡地
 [契約業務等名称：水元公園水産試験場跡地基本計画調査・基本設計・実施設計]
 所在地：東京都葛飾区水元公園1番1号
 発注：東京都建設局公園緑地部・東京都建設局東部公園緑地事務所
 計画・設計：基本計画～実施設計：山本紀久，趙賢一，藤田泰介，板垣範彦，佐藤力，大塚生美（㈱愛植物設計事務所）
 監理：東京都水元公園管理事務所
 施工：㈱富士植木，㈱柱造園，㈱武蔵野種苗園，かたばみ興業㈱
 計画・設計期間：(西暦) 1997年8月～2005年3月
 施工期間：(西暦) 2000年10月～2006年3月
 規模：約9.5 ha
 主要施設：植栽(ヤナギ，ハンノキ，水生植物)，池，水路，カゴ系土留，板土留，観察壁，デッキ，各種舗装，駐車場，循環施設，照明

作品評

本作品は、東京都の都市公園で唯一残された低湿地水郷景観を有する水元公園の一部として、そこに付随する水産試験場跡地を再整備するプロジェクトである。このプロジェクトの特色は、周辺の公園施設等との有機的連続性を十分に考慮に入れながら、本来この土地が持つポテンシャルである水郷の自然性と、水産試験場としての歴史・文化性との二面をうまく活かしている点にある。具体的な設計としては、小合溜の貴重な動植物の生態系の保全・復元や、整備前のコンクリートの水路や水槽群を多様な水生植物群落として再生している点が秀逸である。
 また、整備後の管理・運営面に関しては、植生に応じた仔細な管理手法の提案，それを担う市民の管理体制を組織，かつ環境学習を推進するなど，継続性・将来性を考慮したパークマネジメントも総合的に評価された。今後，行政と市民によるパートナーシップによって育まれていく本作品が，どのように継承されていくのか注目したい。(関西 剛康)

早期に復元させるとともに新たに植栽する水草は荒川・利根川流域のものに限定する。

- ⑥ 健全者と高齢者，障害者等が区別なく水辺の自然を楽しく学べるように観察・展望デッキ，水田，水草や生物を展示・増殖する水槽，生き物の観察やカイボリ体験のできる池等の場や装置を設ける。

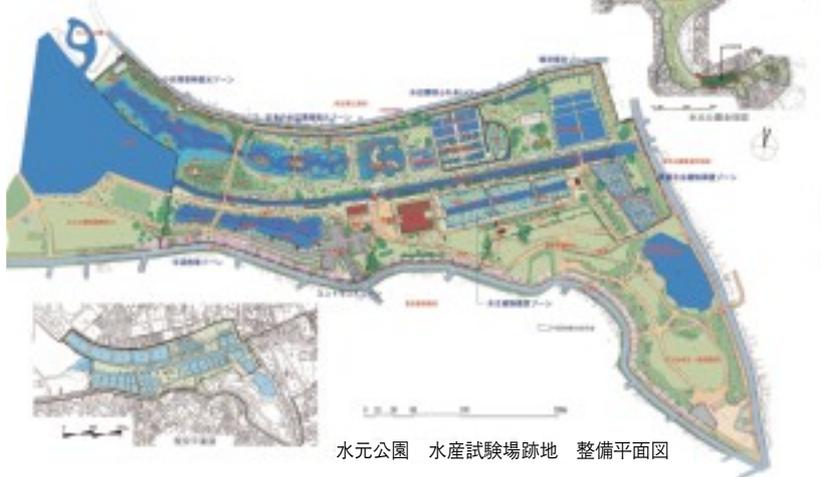
整備後の管理運営については行政と専門家，地元活動団体が協議する場として市民参加推進会議を設け，イベントなどの運営やボランティアによる植生管理作業などで協働できる仕組みをつくった。会議は整備前から設置しており，会議の意見が設計内容にも反映されている。



鉄線かごを活用('06.7)



イグサ浄化水路('06.12)



水元公園 水産試験場跡地 整備平面図



水生生物展示池('07.8)



かいぼりイベントを開催('05.10)



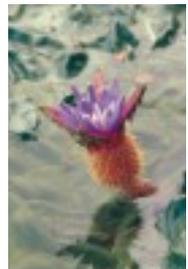
江戸前の金魚を継承('04.9)



夕暮れには水鳥が羽を休める('06.12)



展示池のデンジソウ('06.8)



オニバスの花('07.8)



オモダカの花('06.9)



対象地西側('06.9)



ハンノキなど水辺の樹林を復元('06.7)



湿地に降り立つダイサギ('07.4)



六甲道南公園

株式会社ヘッズ 中西広樹・鈴木康平

□ 作品解説文

六甲道南公園は、阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた地区における震災復興再開発事業の一つである六甲道駅南地区再開発事業区域の中央部に位置し、震災発生から10年と8カ月を経た2005年9月にオープンしました。

芝生の広場を中央に配したこの開放的で明るい約9,300㎡の近隣公園は、災害時の一次避難地として、また隣接する区役所・自治会館と連携する災害対策本部、ボランティア拠点、物資の集積・分配地として機能する防災公園であり、一方、平常時には駅前という立地から、近隣公園という位置付け以上に多様なニーズを

受け入れる都市オープンスペースとしての機能や役割が期待されています。

私たちはコンサルタント・設計者として、震災直後から始まった再開発事業の中での多種多様なファクターの整理と調整に参加し、デザイン基準や市民参加、国際コンペ案の導入等、新しい公園づくり手法を具体的に実践し、都市における居心地の良い屋外空間の具現化と、それを将来に渡り育むための管理・運営組織づくりを担いました。

計画にあたっては、地域防災に資する防災公園づくりはもちろんのこと、再開発地区の設計指針として再開発事業に先駆けて策定された「都市環境デザイン基



せせらぎプロムナード 都市のインフラとしてのケヤキ並木

作品概要

作品名：六甲道南公園
 所在地：神戸市灘区桜口
 発注：神戸市
 設計：基本・実施設計：(株)ヘッズ（中西広樹・鈴木康平）
 設備設計協力：(株)HAO設計（徳岡崇）
 照明設計協力：コイズミ照明(株)（箱崎政直）
 イタリア広場最優秀作品提案：Laura Mascino/Barbara Agnoletto
 監理：神戸市建設局東部建設事務所（林潤一・秦誠・入倉彩・金森基）
 施工：(株)丸山造園（現場代理人：藤井有郊）
 設計期間：2003.09～2004.03
 施工期間：2004.12～2005.11
 規模：敷地面積：約9,300 m²（うちイタリア広場 約3,000 m²）
 主要施設：芝生広場、イタリア広場（国際アイデアコンペ最優秀作品）、水景施設、自治会館（別途工事）、フォリー、植栽（ケヤキ、イチヨウ、ソメイヨシノ、他）

作品評

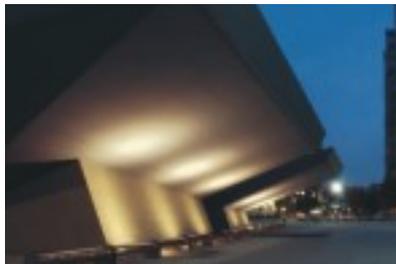
平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災による被害を二度と繰り返さないためにも、密集した市街地内に防災機能を有した都市のオープンスペースを確保することは、今後益々必要になってくるものと思われる。その先駆けとしてのこの公園は、災害時の一次避難地としての機能ばかりでなく、グラフィカルなデザインを敷地全体に展開し、国際アイデアコンペの最優秀案との調和を図りながら具現化させている。また、「都市環境デザイン基準」を遵守といった設計条件をたくみに処理することでモニュメント性をも併せ持った都市の魅力ある憩い空間づくりを行っていることも評価される。プランターへの花植え活動を含む地元住民の公園管理活動を実践したことも今後の新しい公園づくりの布石になり高く評価された。（藤江 哲也）

「基準」や地元住民を対象とした公園計画ワークショップを経てまとめ上げられた空間イメージを具体的な形として場に落とし込む公園づくりに努めています。広大な芝生広場や、地下水を用いたせせらぎ等は、こうしたデザイン基準、住民計画案にて提示されたイメージを具現化したものです。また、設計と並行して管理運営ワークショップを行い、住民主導の管理運営に向けた実質的な組織づくりと運営方針の策定も行っています。これは竣工と同時に住民による積極的な管理運営が開始されるという成果に結びつきました。

加えて、敷地の南側約3,000 m²を対象とした国際アイデアコンペ（2001年）による最優秀案をできる限り原案のまま具現化することとし、周辺との整合を図りながら新しい都市オープンスペースとしてこの地に定着させるランドスケープづくりを行っています。イタリアから寄贈された美しいコバルトブルーのタイルで仕上げられたモニュメンタルなこの広場は、芝生広場と好対照をなす独特の魅力を持つ空間として、地域のアイデンティティのひとつになりつつあります。



公園夜景 フォリー(街角の休憩所)



公園夜景 イタリア広場のライトアップ



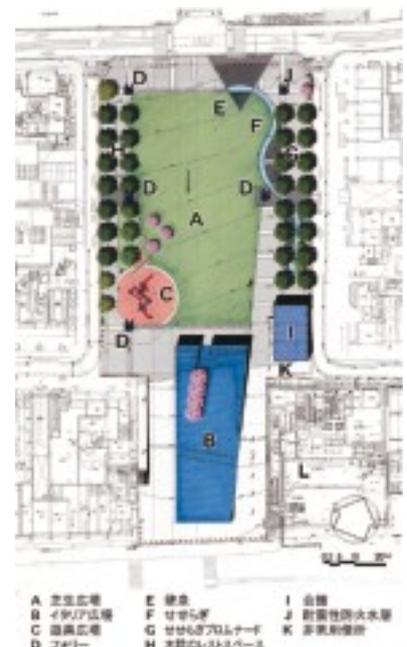
公園夜景 壁泉のライトアップ



芝生広場とせせらぎ



冬のイタリア広場



平面図

A 芝生広場 E 壁泉 I 会館
 B イタリア広場 F せせらぎ J 耐震性防火壁
 C 遊具広場 G せせらぎアトリウム K 多目的施設
 D フォリー H 本館のレスポンス



自然との調和と地域活性化を図る都市公園 西の久保公園(花しょうぶ園・自然生態園)

株式会社大揮環境計画事務所 平嶋 孝・川越浩正・山本久子・高橋みどり

西の久保公園は天草市本渡町に位置し、周囲を山々に囲まれた自然豊かな公園(面積41.8ha)です。平成12年、「公園の質の向上」と「コスト縮減」を図るために公園整備計画の見直しと設計を行い、平成18年3月に開園しました。

本作品である「花しょうぶ園・自然生態園」は、公園西側の東西に細長くのびる谷地を活用して整備しました。とくに、自然との調和と地域活性化を図る施設として、谷地の斜面に残る既存樹林と棚田を活用した約25万株の花しょうぶ畑が連続する景観づくりに心掛け、「水」「花」「緑」の調和が美しい心とむ空間を創出しています。

この棚田景観の再生によって、5～6月の開花シーズンには、開園2年目にして約4万人の来訪者を集める施設となりました。設計段階においては、施設整備と合わせて、公園の利用と交流を促進し地域活性化につなげられる公園とするため、マスコットキャラクターのデザインやこれらを活用したサイン施設の設計、公園紹介パンフレットの製作、花しょうぶまつりの提案など公園の付加価値を高める様々なデザインの提案と実施を行っています。

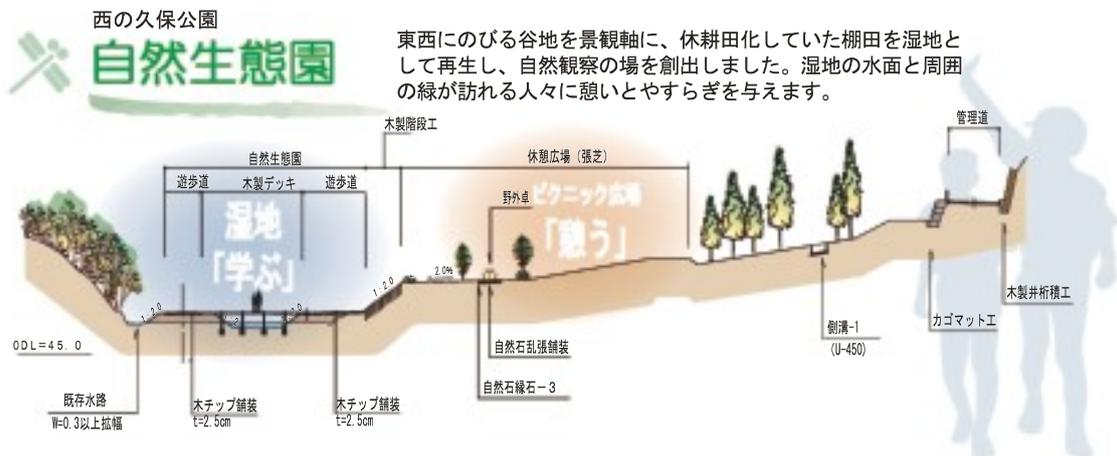
平成18年には、棚田を生かし「自然との調和」を目指した整備姿勢が評価され、都市公園として初めて「くまもとアートポリス推進賞(第12回)」を受賞しました。



木と緑のハーモニー (自然生態園全景)

心地よい木もれ陽の散歩道

とんぼ池



作品概要

作品名：天草市 西の久保公園「花しょうぶ園」,「自然生態園」
 所在地：天草市本渡町本戸馬場
 発注：天草市
 設計：榎大揮環境計画事務所
 監理：天草市
 施工：衛天祐建設工業所（施工者代表）
 設計期間：平成12年2月～平成16年3月
 施工期間：平成14年10月～平成18年3月
 規模：2.7ha
 主要施設：花菖蒲園、茶室兼教養施設「建友庵」、自然探勝路、自然生態園、どんぐりの森「万葉樹園」、林間広場、木もれ陽の散歩道、トンボ池、観察デッキ

作品評

本作品は既存の谷戸地形と棚田を活用し、その土地の持つポテンシャルを十二分に引き出し、「公園の質の向上」と「コスト縮減」を実現しつつ「自然との調和」と「地域の活性化」の目標を果たしている点が評価された。
 近年、里地里山の活用が求められている中で、細長く伸びる谷地の形状を主要な景観軸として捉え、地元花文化である「肥後系花しょうぶ」によって構成された花しょうぶ園は、地方からの文化情報発信として成功し、県内外から約4万人の観光客誘致を達成している。また景観軸にそった棚田では「自然生態園」としてよみがえらせ、土地の記憶としての里山景観を再現して自然観察の場を創出し、やすらぎと環境教育の一役を担っている。
 以上、優秀な作品であると評価する一方、サイン設計、キャラクターデザインにおいて地方色が表現されたオリジナルデザインが求められるなど、悔やまれる点もあった。（丸山 英幸）

西の久保公園の全景



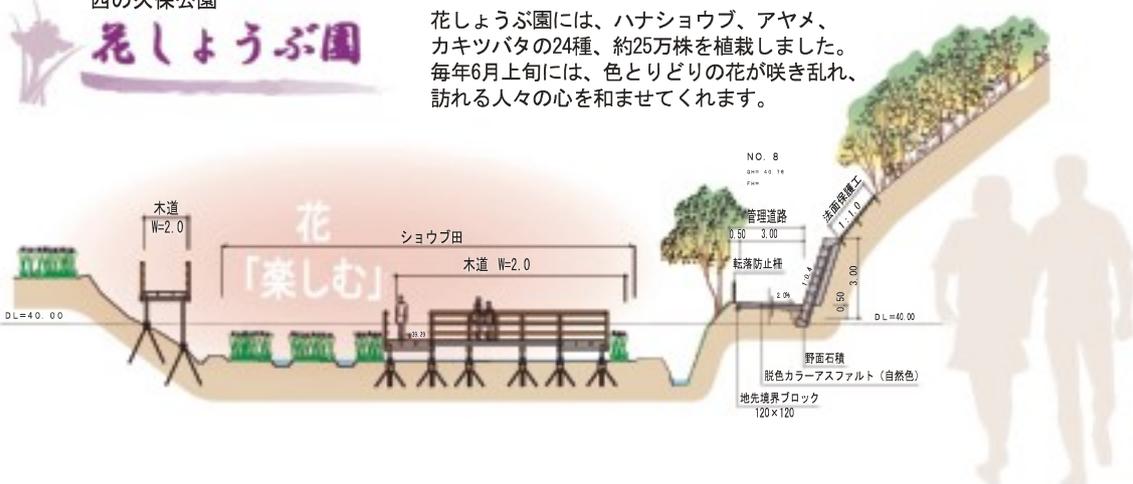
花と緑のハーモニー（花しょうぶ園全景）

デッキを利用した天草ハイヤ踊り

満開の花菖蒲

西の久保公園
花しょうぶ園

花しょうぶ園には、ハナショウブ、アヤメ、カキツバタの24種、約25万株を植栽しました。毎年6月上旬には、色とりどりの花が咲き乱れ、訪れる人々の心を和ませてくれます。





都市近郊の「農」の環境保全に向けた提言 —「多摩地域の里地里山の保全に関する調査研究」より—

株式会社プレック研究所 河島泰斗・辻阪吟子・吉田禎雄

東京の近郊に位置する多摩地域では、農業経営の悪化と都市近郊という立地ゆえの開発圧により、営農継続意欲の減退と担い手の不足（農業離れ）が深刻化しており、その結果として近年は農地面積が大きく減少しています。

このような状況の中で、多摩地域の市町村が、農地とそれを支える農業の営み（これらを総称して「農」と呼ぶ）の保全を進める際に参照できる資料の作成を目的として、実態調査と保全手法の提言を行いました。

調査検討の出発点として、多摩地域の「農」の現状

について基礎調査を行ったところ、多摩地域全体としての農地面積が減少している一方で、都心部に近い地域では、大消費地に近いという立地を活かし、直売等により高い収益を上げている農家が存在することがわかりました。また、多摩地域には、市街地に囲まれた狭小な農地から、武蔵野台地の広大な畑地、谷戸田、丘陵地の酪農など、非常に多様な「農」が息づいており、農産物の供給や多面的機能の発揮という面から多様な可能性を有することがわかりました。さらに、各地で市民農園や農業体験が人気を集めており、都市住

多摩地域の「農」の実態

～減少している農地～

- ◆東京郊外の住宅地として開発が進められてきたため、農地面積は減少の一方、しかも全国の数と比べて落ち込み幅が大きい。

～農地は全域に分散して分布するが、法的担保状況は多様～

- ◆農地は全域に分散して分布。
- ◆東部は大半が市街化区域かつ生産緑地。西部は大半が市街化調整区域に位置し、さらに農業振興地域や農用地も多い。奥多摩町と檜原村は都市計画区域外。

● 農地
● 樹林地

～都心部に近いほど経営状態が比較的良好～

- ◆小規模農家が多いが、大消費地に近いことを活かし、直売等により高い収益を上げる農家が存在。
- ◆これを反映し、農業経営に関する指標が、全国の数と比べて良好な数値を示す。また、この傾向は都心に近いほど顕著である。

農地 10a 当たり生産農家所得

多摩地域の農地の類型区分

上記のような多摩地域の農地の多様性を踏まえ、地域特性に応じた検討を行うため、次の5つの類型区分を実施。

| 類型区分 | 農地・農家の状況 | 典型写真 |
|-----------|---|------|
| A. 市街化区域型 | <ul style="list-style-type: none"> 【主な土地利用規制】市街化区域内、かつ大半が生産緑地 【農業経営の状況】良好な経営状況の農業者が比較的多い 不動態等による農業以外の所得が多い 後継者がいる農業者の割合が高い | |
| B. 都市近郊型 | <ul style="list-style-type: none"> 【主な土地利用規制】主に市街化調整区域 農地域内農用地である場合もあり 【農業経営の状況】生産性向上を図る農業者、自給的農業者等に分散 不動態等による農外所得が比較的多い 類型Aに比べ後継者がいる農業者の割合が低い | |
| C. 山の辺型 | <ul style="list-style-type: none"> 【主な土地利用規制】市街化区域と市街化調整区域が混在 【農業経営の状況】宅地による農地の小規模分散化が進んでおり、経営状態は厳しい | |
| D. 谷戸型 | <ul style="list-style-type: none"> 【主な土地利用規制】主に市街化調整区域 【農業経営の状況】農地の確保が小さく経営状態は厳しい 都市放棄地が多い | |
| E. 山間地型 | <ul style="list-style-type: none"> 【主な土地利用規制】市街化調整区域または都市計画区域外で、かつ農業地域外 【農業経営の状況】ほぼ自給的農業 わさび、こんにゃく等の特産品あり 都市放棄地が多い | |

* 6次産業：農業者自身が、生産だけではなく農産物の加工と販売まで実施すること。「1次（農業生産）×2次（加工）×3次（販売）＝6次」という考え方

作品概要

作品名：都市近郊の「農」の環境保全に向けた提言
 —「多摩地域の里地里山の保全に関する調査研究」より—
 対象地：東京都多摩地域
 発注：(財)東京市町村自治調査会
 事業目的：多摩地域の里地里山を構成する重要な要素である「農」の環境を対象として、現況と問題点を把握・整理し、課題を抽出し、保全方策を立案すること。
 事業体制：共同調査研究体制として、下記メンバーで構成される研究会を設置。
 ・座長：東京農工大学大学院教授 千賀裕太郎氏
 ・(財)東京市町村自治調査会 担当者
 ・(株)ブレック研究所 担当者
 ・その他、適宜ゲストを招致（市町村農政担当者、税理士）
 協働者等：なし
 事業期間：平成17年7月～平成18年3月
 事業規模：東京都多摩地域（1,169.49 km²）

作品評

東京都多摩地域における里地里山の環境保全について、「農地」の環境保全としてとらえて企画した調査研究である。農地をまちづくりの視点から、自然環境保全やふれあいの場などの都市近郊の環境財とすることを前提とした環境保全の対応策を提案しており、農業の多面的機能に着目した着眼点が高く評価された。
 提案に至る過程では、多摩地域30市町村の自治体へのアンケートの実施、農業関係者やNPOへのヒアリングなど、膨大な資料の収集と多くの調査が行われており、多岐にわたる情報収集と解析等、優れた調整能力がうかがえる。
 実態調査から抽出された課題から、地域を類型化して目標像と取り組みを具体的に提案している。また、調査編から提案に至るまでの段階ごとでシートになっており、自治体の担当者等が里地里山や農地の環境保全に向けた施策を検討する際に、活用しやすいように体系化されてまとめられている。この成果は貴重なストックであり、今後、参考資料として多方面での利活用が期待される作品である。（石井ちはる）

民の「農」に対するニーズが高いことも伺えました。これらの都市近郊に立地するがゆえの多摩地域の「農」の特性を踏まえ、その保全を図るためには、直接的に「農地を守る」という土地政策的なアプローチだけではなく、それを支える「業（なりわい）」や「都市住民との関わり」にも目を向けることが必要と考えました。そして、多摩地域の「農」を、単なる生産という側面から捉えるのではなく、それは「地産地消」などの

顔が見える農産物の供給という付加価値を持つものであり、さらに、身近な緑とのふれあいの場の提供、自然環境の保全、防災といった都市生活にとって重要な機能を有する「環境財」としての価値をも有するものとして捉え、この考え方に基づく「農」の保全のあり方を「農の環境保全」と名づけ、これを基本テーマとして下記のような調査検討を行い、提言を取りまとめました。

ケーススタディ調査

◆検討事例

～生産緑地制度の限界を踏まえた、農地保全方策の提案～

【現状と課題】
 ◆生産緑地は、相続税の軽減率等を引き替えに、売却や買値を制限。
 ◆しかし、相続を重ねるにつれて農地が減少する可能性がある。

①現状
 ・市との農業振興
 ・不足する生産費
 ・相続税で補填

②相続が発生すると・・・
 ・相続税を要件に軽減率
 ・死亡時に発生
 ・不足には農地の売却

③増税を支払うために・・・
 ・市助成の軽減率を減らしたり、生産緑地を維持して農地を売却
 ・売却時の減額

④さらに代を重ねると・・・
 ・農地売却の発生
 ・相続要件の不足
 ・減額が膨らむため、買値制限が低下

⑤生産緑地は・・・
 ・住居の制限が厳格
 ・都市近郊農地になる可能性あり
 ・その中でも、買値制限の発達は厳格

【対応策】
 ◆上記のような事象は、農地が私有地と異なされ、都市生活にとって貴重な土地として保全されてこなかったことが一因。
 ◆このため、農業の多面的機能に着目し、まちづくりの視点から「環境財」としての価値づけを行うことを前提として、下記を提案。

a) 多面的機能による多様な農地の活用
 ・農産物産出、観光や買値要件などから利用価値が高い。
 ・買値が、相続税減額が可能な物件により取得し、観光農園として整備。

b) 「環境付録」による大規模農地の保全
 ・都市近郊域内の上まわった農地を環境付録「多摩地区域の農地を都市化調整区域」に導入する。
 ・緑地帯で連続する事例あり。

◆その他検討事項（例）

～「販売から選った農業振興」の提案～
 ⇒大消費地に近接する地の利を活かし、地産地消、6次産業[※]等の取組により収益性を高める。

～立地条件を活かした「谷戸田オーナー」の提案～
 ⇒「自然とのふれあいの」のニーズに着目し、都市住民を谷戸田の使い手として呼び込む。

「『農』の環境保全」に向けた提言

◆類型区分ごとの提言

| 類型 | 特徴 | ストーリー | 取組の第一歩（例） |
|---------|---------------------------|--|---|
| A 生産緑地型 | 「農」と「住」が共存し、互いを必要とする地域の環境 | ①農地と市街地が共存する都市近郊の土地利用計画 ②「農」と「住」のふれあいや「農」を基盤とした交流活動 ③都市近郊の農地と市街地との連携や交流活動 ④都市近郊をサポートする施設での活動づくり | 生産緑地制度による農地確保の維持づくり ・地域生活として買値し地価抑制のあり方についての意見交換 ・地域生活、農産物の活用に関する調査 ・多面的機能による農産物の販売 ・農業が可能な農地を確保し、農業従事者を確保し、農業従事者の増加を促す |
| B 都市近郊型 | 生産の場として認められる「農」の環境 | ①「環境付録」に示された取組の推進と都市近郊の連携 ②都市近郊と都市近郊の連携の推進 ③環境付録の農産物の生産・流通の促進 | 多面的機能による農産物の販売 ・農業と都市近郊（観光、土地活用）の連携 ・地域生活の連携 ・地域生活の連携 ・地域生活の連携 |
| C 山の手型 | 古き農具も引き継ぐ「農」の環境 | ①都市近郊への関心・取組 ②都市近郊と都市近郊の連携 ③都市近郊の農地・農地への活用 | 多面的機能による農産物の販売 ・都市近郊と都市近郊の連携 ・都市近郊と都市近郊の連携 |
| D 谷戸田型 | 共有の自然環境を認められる「農」の環境 | ①都市近郊への関心・取組 ②都市近郊と都市近郊の連携 ③都市近郊の農地・農地への活用 | 多面的機能による農産物の販売 ・都市近郊と都市近郊の連携 ・都市近郊と都市近郊の連携 |
| E 山の手型 | 都市近郊を認められる「農」の環境 | ①都市近郊への関心・取組 ②都市近郊と都市近郊の連携 ③都市近郊の農地・農地への活用 | 多面的機能による農産物の販売 ・都市近郊と都市近郊の連携 ・都市近郊と都市近郊の連携 |

◆多摩地域全体の提言

～多摩地域における「農」の存在に再び光を当てる～
 ・急速な都市化等により「農」の存在感や影響力が低下し、その価値や必要性が都市の中に埋没。
 ・都市近郊における「農」の価値や必要性を改めて見直し、地域の合意と協働を生み出すことが必要。

～「農」の環境保全に向けた取り組みの方向～

- ①多面的機能に着目した「農」の価値や必要性のアピール
- ②「交流」を通じた都市住民からの声や行動の喚起
- ③地域の土地利用における「農」の環境的位置づけ
- ④「農」を支える人材や組織の連携
- ⑤「農」を継続するための法律や規制への対応
- ⑥「農」と「都市生活」との相互影響に配慮した「共生」の推進



浦安東地区2号近隣公園ワークショップ・実施設計およびイベント企画・運営について

株式会社トデック 水野一実・佐藤賢一・鈴木良樹・越智常博・春田美保

本公園は、約2年間にわたりワークショップ5回と工事期間中の現場にて、開園式を含めた3回のイベントを開催することで地域住民と行政の交流を深め、公園の計画づくりから完成後の公園管理までを見据え、持続可能な住民参加型公園づくりを目指しました。

□ワークショップの特徴

公園誘致範囲である日の出地区全体のワークショップとするため、地区の自治会または管理組合へワーク

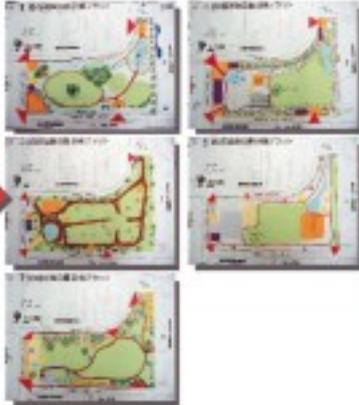
ショップのご案内を行い、目的と今後の進め方について説明。必要に応じて街区別に個別説明会を実施。それによって「考える会」を結成。ワークショップ開催後に毎回、結果報告を「かわら版」にし、自治会等の協力を得ながら対象4000世帯に配布。またワークショップ専用のホームページを立上げ、今までの経緯、資料や結果を公開。また閲覧した方が意見できるシステムを導入(合計5000件を超えるアクセス)。このような

■ワークショップ風景

■ 周辺の公園見学会



■ 各班からのプラン



■ 合意形成プラン



■ 各班の作業風景



■ イベント風景

■ 第1回 春のイベント風景

開園時植樹用の苗木を配布 公園名の投票会



大らかがきコーナー



親子のゲームコーナー



ぬり絵掲示コーナー



■ 第2回 秋のイベント風景

工事現場見学会



低木の植樹体験



芝張り体験



ブロック裏に名前を残そう



作品概要

作品名：浦安東地区2号近隣公園ワークショップ・実施設計
およびイベント企画・運営について
所在地：千葉県浦安市日の出
発注：独立行政法人都市再生機構千葉地域支社
設計協力：(株)HEDプランニング
(株)シビックデザイン研究所
監理：(株)URリンケージ
(株)トデック（建築施工監理補助）
施工：(株)富士植木
設計期間：平成15年9月～平成17年2月
施工期間：平成17年3月～平成18年4月
規模：2.0 ha
主要施設：回遊园路、噴水広場、健康遊具広場、スポーツ広場、
多目的広場、流れ、便所、防災倉庫、カマドベンチ
等

作品評

本作品は、浦安東地区における近隣公園の実施設計において、約2年間にわたりワークショップやイベントを開催して、地域住民と行政の交流を深め、持続可能な公園づくりを目指したものである。
ワークショップにおいては、公園誘致距離圏内の約4000戸を対象として、毎回の協議資料や結果を紙媒体とホームページにより閲覧でき、それに対して意見を言える手法がとられている。イベントにおいては、工事の一部を地域住民が行うことで、公園への愛着を育み、公園整備終了時からの“真の公園づくり”につなげる取組みが見事である。
これらの多彩な企画と運営、ならびに、わかりやすい資料の作成など、地域住民とともに取り組む公園づくりのプロセスが充実している点が評価された。（杉井 昌勝）

方式により、地区の皆さんの意見から公園のアイデア施設を多数取り入れることができました。

□ イベント企画・運営

ワークショップ終了後、新たに「楽しむ会」を結成。考える会の参加者を中心に浦安市、独立行政法人都市再生機構千葉地域支社、コンサルタント、施工会社とともに春・秋・開園式と3回のイベントを企画・運営。公園の名称募集や各公園施設の経緯や利用方法、災

害時の公園利用などを意識した企画を立案。また完成後の公園との新たな携わり方なども紹介。開園式では近隣小学校などのご協力により、吹奏楽部や子どもダンスチームの発表会も行いました。その結果イベントには延べ1900人（保険加入者数）の来場者を記録することができました。その結果、開園と共に住民団体による公園清掃などの活動などが行われてます。

■ ワークショップからのアイデア施設

リゾート感あるエントランス



明るく清潔感のあるトイレ



ベンチ脇にはペット用リードフック



セットバックした外周园路



球技の楽しめるスポーツ広場



ゴミ箱はトイレに設置



ペット用水飲みを設置



障害者対応駐車場



■ 第3回 開園イベント風景

サンシャインガールズ(日の出地区在住の子どもたち)



日の出南小学校吹奏楽部演奏会



植樹、花植えコーナー



健康遊具体験コーナー



カマドスツール実演コーナー



メダカ放流コーナー



ペットのマナーアップコーナー





公園管理支援システムの開発と構築

株式会社グラック 西山秀俊・八色宏昌・並木 崇・岸井悠子

□システム開発の背景と概要

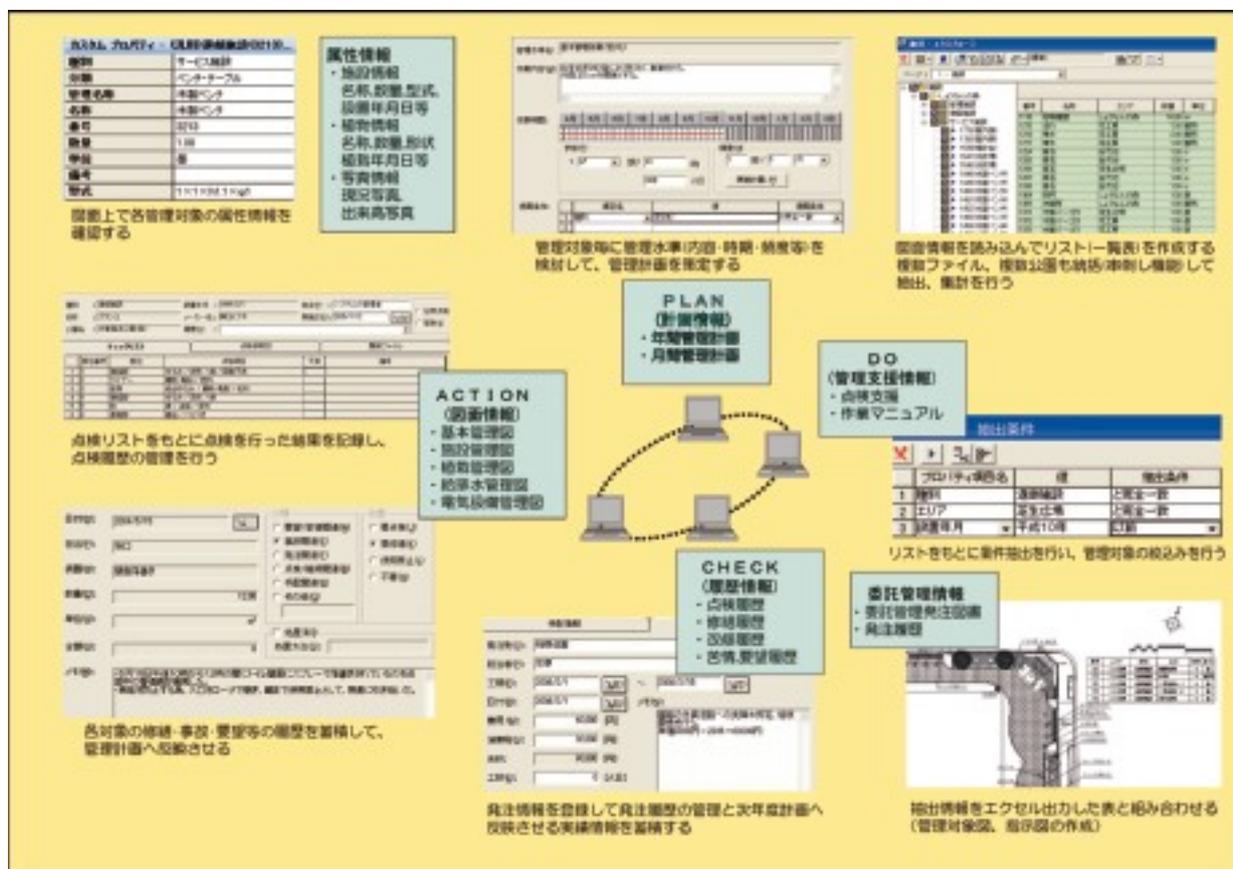
1972年から始まった都市公園等整備五箇年計画にもとづく公園の整備は着実にその成果を上げ、1990年代に入ると公園行政の力点が整備から管理運営へとシフトし始めた。また、公園を市民財産として守り育てる意識が広まるなどフローからストック活用の時代において、公園の維持管理業務の計画的・効果的な実施を図り、利用者サービスの向上を実現するためのツールが求められるようになってきた。そうしたなか、公園の調査計画から管理運営までの一連の公園事業に精通する造園コンサルタント（株グラック）とシステム開発のコンセプトや機能を具現化する技術を有するシステム開発会社（ヒラタソフトウェアテクノロジー株）との協働で公園管理支援システムを開発することとなった。

□システムの開発コンセプト

本システムは、公園台帳を電子化するためのシステムやGISをベースとした大規模で高度な操作スキルを必要とするものではなく、公園の維持管理のあらゆる場面に対応する機能を持ちながらも特別なカスタマイズを必要とせず、安価で導入することが可能で、誰もが容易に利用することができるシステムとした。

□システムの概要

公園施設や植物の属性情報を容易に確認・抽出できる図面統合型のデータベースシステムを基本として、公園の維持管理に関わる一連の情報（管理対象、数量、設置年月日、維持管理内容、管理履歴等）をトータルに把握し、管理業務に必要な情報の管理・抽出、管理図面やリスト等作成の効率アップを実現するものとした。



公園管理業務のPDCA サイクルに対応するシステムの機能

作品概要

作品名：公園管理支援システムの開発と構築
 担当者：西山秀俊，八色宏昌，並木 崇，岸井悠子
 対象地：都市公園全般
 発注者：財神奈川県公園協会
 事業目的：公園の維持管理業務の計画的，効率的な実施を実現するためのデータベースシステムを開発する。
 事業体制：㈱グラックとヒラタソフトウェアテクノロジー㈱との協働による
 協働者：ヒラタソフトウェアテクノロジー㈱
 事業期間：平成14年4月～平成18年3月
 事業規模：—

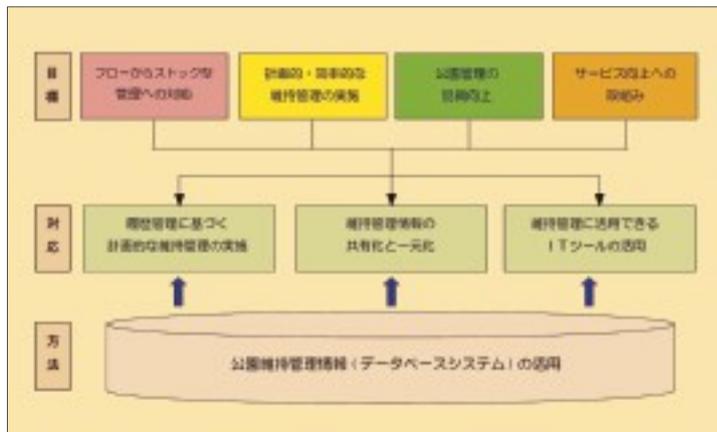
作品評

本作品は，公園維持管理業務における効率化を目指して，「図面統合型データベースシステム」を基本エンジンとして，図面情報と属性情報を一体化させた公園管理支援システムの開発と構築を行ったものである。電子化された公園台帳の整備に留まらず，計画的，効果的な管理運営，公園利用者へのサービスの向上，指定管理者業務への対応等公園の管理運営をトータルにサポートするシステムである。
 また，このシステムの最大の特徴は，GIS 等の大規模な基本エンジンを使用せず，安価で誰でもが容易に利用することが可能という点にあり，公園緑地に深い知識と経験を持つランドスケープアーキテクトが中心となって優れた公園管理支援システムを構築されたことを高く評価したい。今後，このシステムの活用によって，質の高い公園の管理運営，公園利用者へのサービスの向上が図られることを期待する。
 (村岡 政子)

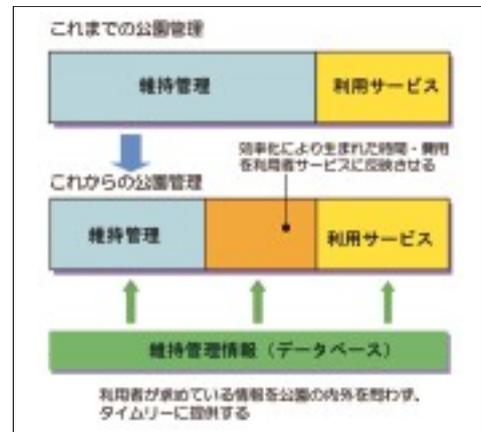
□ 得られる効果

公園という総合空間の質的な向上＝利用者サービスの向上を実現するシステムとして，維持管理計画の立

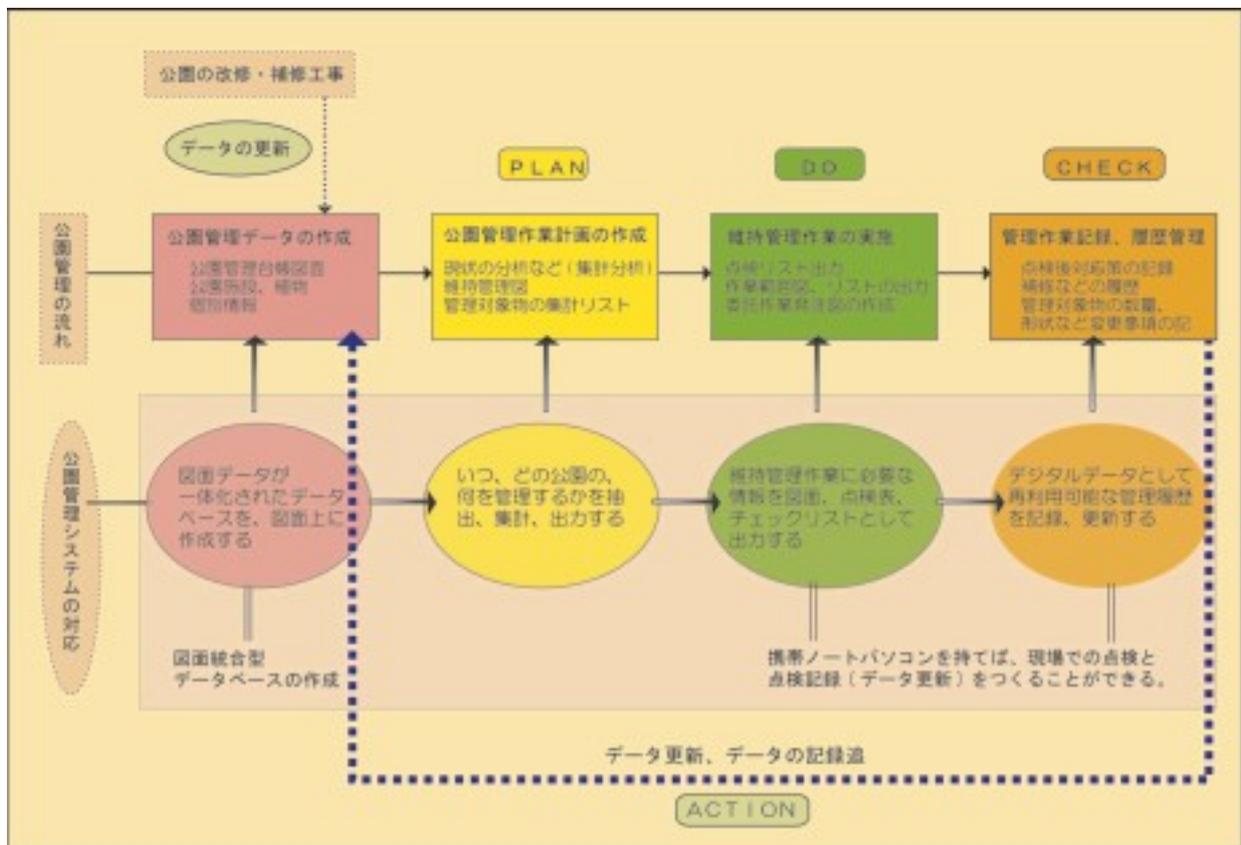
案，業務の実施，履歴管理，計画の検証・反映といった一連のサイクルを支援し，計画的・効果的なマネジメントを実現することが可能となった。



公園管理の目標と求められるツール



システム活用による利用者サービスの展開



公園管理の流れとシステムの機能・構造

優秀賞 賞

お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で

株式会社伊勢丹 山岸彰雄・望月友子・久保田剛生／株式会社伊勢丹ビルマネジメントサービス 佐藤行雄／株式会社日比谷アメニス 水野妙子／株式会社アボック社 佐々木知幸／YRP ユビキタス・ネットワークング研究所 川井将之

新宿の伊勢丹本店は、お客様に安らぎを提供する空間として、芝生広場と雑木林を中心とする屋上庭園「アイ・ガーデン」を整備しました。芝生でくつろげ、園路を回遊しながら春・夏・秋の季節の草花がそれぞれのエリアを中心に楽しめるようになっています。四季

折々に咲き誇る草花には、かつて里山で見られた植物を織りこみ、親しみやすさとともに懐かしさも感じていただける庭園としました。また、車イスでも回遊できるバリアフリー化も行っています。



芝生であんよの練習



お休みの日はお父さんと



平日はお母さんと



車椅子でOK



● アイキッズクラブ農園

アイ・ガーデン内に子供たちが農作業を体験できる「アイキッズクラブ農園」を設置しました。2006年はオーガニックコットンを、苗植えから収穫まで、アイキッズクラブのメンバーの方たちと育てていくという活動を行いました。

※アイキッズクラブは12歳以下の子供とマタニティ・ママのための子育てライフ支援のクラブです。



成長記録を貼付していく「さいばい日記」

作品概要

作品名：お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で
 所在地：伊勢丹本店本館屋上庭園 東京都新宿区新宿3-14-1
 業務の種類：百貨店の屋上庭園における、緑を介して様々なお客さまへのおもてなし
 業務の対象区域：伊勢丹本店本館屋上庭園 アイ・ガーデン
 業務の目的：アイ・ガーデンにいらっしゃるお客さまへ、庭園を眺めて楽しんでいただく以外に複数のコンテンツを介し、庭園に植わっている花と緑の情報サービスを楽しみ、わかりやすく伝えるとともに、子供たちにも身近でわかりやすい環境教育の場としても力をいれている。

作品評

伊勢丹の屋上を魅力あるスペースへの変身を期して整備されたのが、緑いっぱいの憩いの空間「アイ・ガーデン」である。近くには新宿御苑などがあり、鳥や昆虫の恰好のオアシスともなっている。「常に半步先を行く伊勢丹」が、屋上に緑豊かな庭園を造る、というだけでは満足しない。「単に自然環境を用意するだけでなく、それを学習につながる仕組みを作ろう」との考えが打ち出された結果として導入されたのが、ユビキタス・コンピューティングである。庭園内各所に無線ICタグを組み込んだ情報パネルを設置、端末機を近づけると、コンテンツを閲覧できる。これらのことを実現するために、日比谷アメニスほかに、YRP ユビキタス・ネットワーク研究所、アボック社、NPO 法人栽培植物分類名称研究所などが協力して、このプロジェクトを確かなものとした。造園施工業として庭づくりや管理運営は当然のこと。本プロジェクトは加えて、IT技術の適用と挑戦の事例として、優秀賞にふさわしいものと評価された。(井上 元)



春の庭



ライトアップされた月見台



庭を彩る花々

● 草花ガイドツアー

ICチップを利用した携帯端末による草花ガイドツアーを行っています。11ヶ所に設置されたICプレートに携帯端末を近づけると、近くの植物情報が文字や音声で提供されます。植物の豆知識やクイズが出題され、楽しみながら植物の情報を得ることができます。



アイ・ガーデン ユビキタスガイド



● 『花ごよみ』パンフレットと『樹木札』

季刊『花ごよみ』は四季折々の草花や樹木をお客様に楽しんでいただくためのパンフレットです。また、アイ・ガーデンの片隅に控えめに置かれているのがお客様の疑問に即座に答える『樹木札』です。



『花ごよみ』を中心とした3つのメディアが連携し
 さまざまな場面、さまざまなお客様へ、幅広く植物情報を発信しています。

植物情報サイト『はなせんせ』の使い方や『樹木札』クイズの答え見頃の花の位置などの情報が掲載されています。QRコードを携帯電話で読み取ると『はなせんせ』の解説ページにつながります。

『花ごよみ』パンフレット



植物情報サイト『はなせんせ』
 NPO法人栽培植物分類名称研究所主催



クイズも楽しめる『樹木札』



猿島公園 SARUSHIMA PARK

仙田 満+環境デザイン研究所

仙田 満・松木譲二・水谷光良・長谷川一久・佐藤哲士・佐藤文昭・仙田 考・落合千春

□エコミュージアム猿島

「猿島」は東京湾唯一の自然の無人島である。縄文、弥生～古墳時代の遺跡と江戸期、明治期の台場跡や昭和期の要塞が遺跡として保存されており、エコロジカルな生物自然環境と歴史文化遺産を守る地域のエコミュージアムのサイトの一つとして重要な意味をもっている。

本計画にあたってはこれらの要素を尊重し、各施設的设计および野外ディスプレイデザインが進められた。猿島の市民利用施設として新設された管理棟は海に開かれつつ、歴史遺産の一つである発電所を象徴的に扱う軸と並行に配置、平面形状は背後の山に沿うよ

うに弧を描いている。屋根も山の勾配に沿った片ながれとし、景観上の調和を図っている。別棟の物販棟は、一番低い砂浜のレベルに設けて、その屋根がそのまま管理棟の前広場と一体となっている。管理棟2階部分には休憩機能だけではなく、「エコミュージアム猿島」の屋内活動拠点として展示スペースやワークショップなどが催せるような魅力的な空間を提案した。施設全体が公園の園路と一体的になった循環動線に組み込まれた遊環構造で構成されている。全体として土木遺産や自然環境のディスプレイデザインなど、環境を十分に配慮した慎ましいデザインが心がけられた。利用者にとって気持ちが晴れ晴れとする環境デザインを、市



海側から見た管理棟の遠景。斜面に寄り添うように建て、ボリューム感を抑えるとともに落ち着いた色彩としている

作品概要

作品名：猿島公園
所在地：神奈川県横須賀市猿島1番地
発注：横須賀市
設計：仙田 満+環境デザイン研究所
設備設計/テーテンス事務所、総合設備計画
構造設計/金箱構造設計事務所
監理：仙田 満+環境デザイン研究所
施工：小林組
設計期間：2003年11月～2004年3月
(平成15年度猿島公園整備に係わる設計業務)
施工期間：2005年11月～2006年6月(平成17年度工事設計監理)
規模：木造地上2階(管理棟)、木造地上1階(物販棟)
主要施設：公園管理施設

作品評

本作品は、猿島公園全体の整備構想と船着き場周りのサービスゾーンの施設計画とを合わせて公園全体の運営提案を行ったものである。

猿島の現況としての既存の海水浴施設やその利用状況および、島への交通環境、関係している三笠公園の位置・性格に関する説明や、市民のいない島での市民参加や専門家による講習など、その意義に関する説明が提出資料から読み取れなかったことが非常に悔やまれる。

しかしながら、設計概要を視覚的に訴えたプレゼンテーションは引き込まれるものがあり、また、市民対話会や専門家による市民講習など積極的な取り組みの内容については理解できた。そして、これらの結果を「公園整備の方向性」としてまとめ、今後の整備・運営の方針としている点は高く評価できる。また、管理棟域の設計では、エコシステムや模型による案の提示を行い、市民の議論を容易にさせ、センスの良い建物やサイン類を実現した点も高く評価された。(宮田 倫夫)

民対話会などを通じて実現した。今回の計画は公園計画の一段階であり、今後も継続的に猿島の整備が、QBSで選ばれた私たちのチームのデザインを基に行われる予定である。

今後とも、「エコミュージアム猿島」として島全体のデザイン向上に向けて働きかけていく責任があると考えている。

□ QBS方式による設計者選定

本プロジェクトは、横須賀市が全国に先駆けて実施した設計者選定方式であるQBS方式により、平成15年に選定を受けた。公園整備としては初の試みである。市からは「エコミュージアム猿島」というテーマが与えられ、猿島公園全体の整備構想と船着き場回りのサービスゾーンの施設計画とを合わせて、公園全体の運営提案を行った。



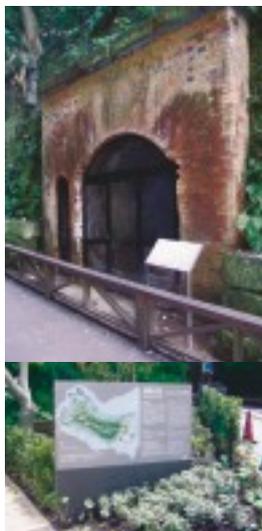
猿島公園の空撮



背後の森に調和する緩やかな曲面と多目的室南側の屋外デッキ
新緑色の屋根



多目的室内観



改修された要塞と総合案内サイン





東三河ふるさと公園

株式会社ブレック研究所 和田克臣・長谷川均・山口朋浩・玉井邦治

□「自然と歴史風土」をテーマとした公園

計画地に残る自然環境や東海道宿場町の歴史風土を踏まえ、「自然と歴史風土」をテーマにした公園とした。

本公園は、豊川市街地の周縁部に位置し、コナラ、リョウブ等の落葉広葉樹やスギ・ヒノキ人工林、モウソウチク林などの二次林が生育する丘陵地にタヌキ、シカ、リスなどのほ乳類や数多くの鳥類、昆虫類等の生息が確認され、自然環境が豊かである。また、近くには旧東海道の御油宿、赤坂宿などの宿場町の面影が残り、御油の松並木は天然記念物に指定されている。このような歴史風土や自然環境を活かし、地域の風土

に根付いた公園とした。

本公園は、入口部分と最上部で140 mもの高低差がある急峻な地形に立地するが、面的な整備が可能な北麓に駐車場や利用拠点施設を配置し、これを宿場町、山腹から山頂、南麓に至る園路を「丘陵を越える東海道」と捉え、園路沿いに歴史や風土景観を多様に演出する広場などを配置した。

□修景庭園

東三河地方の景勝地の風景を表現し、三河湾をかたどった人工池を中心に白砂青松、三河湾に浮かぶ竹島、豊川の流れ、三河の山々等の風景を凝縮している。



修景庭園

作品概要

作品名：東三河ふるさと公園
所在地：愛知県豊川市御油町・国府町，宝飯郡御津町
発注：愛知県東三河建設事務所
設計：㈱プレック研究所
監理：愛知県東三河建設事務所
施工：㈱渥美建設，岡田建設㈱，倉橋建設㈱，豊川建設共同企業体，㈱波多野組 他
設計期間：平成8年8月から平成17年3月
施工期間：平成12年度から平成17年度
規模：全体計画面積174.8ha（うち開園面積62.4ha）
主要施設：修景庭園，東三河あそび宿，展望ツツジ園，ピクニック園地等

作品評

本作品は、美しい国土づくりと景観というテーマに対し、地域の原風景の再現とそれを周辺まちづくり振興へ寄与するというコンセプトに基づき設計されたものであり、東海道の宿場町としての歴史を踏まえ、街道を巡っていくというストーリー展開している点が評価された。

また、街道筋の特徴的な景観を宿場町，農村，山村，里山などと表現している点，小規模造成，伐採木の活用，太陽光発電，循環型水利用など，環境にも配慮している点は高く評価できる。

惜しむらくは，設計趣旨にある，「美しい国土づくりがまちづくり振興へ寄与する」という実態を部分的にでも明確に示すことができれば，より高い評価が得られたのではないだろうか。
(金清 典広)

管理事務所等

管理事務所等は，旧東海道の町並みの風景を公園内に演出するものとして，御油宿周辺の町並みをモチーフとし，黒色の漆喰壁と和瓦屋根，うだつの意匠を取り込んでいる。

三河郷土の谷

東三河の農村風景をモチーフとした三河郷土の谷では，既存の谷地形を利用し，棚田の風景を演出している。棚田では，菜の花などの風景を展開する。

東三河あそび宿

子どもたちの遊びの場として，和風の景観を演出し

ている。その中には，ネット遊具及び滑り台等を組み入れ，和風の本造構造を取り入れた。

三河山野草園

三河山野草園では，歴史風土演出の一環として，フジバカマやオミナエシ，キキョウなどの山野草を植栽し，その薬用などの利用について説明する。

展望ツツジ園

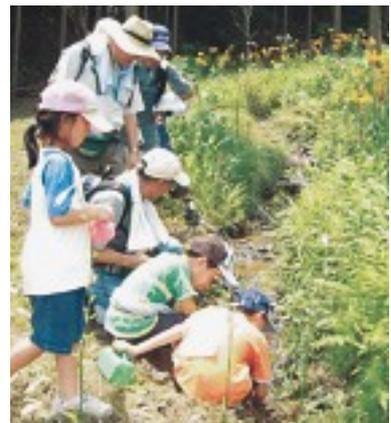
山頂部にかつての東海道の道筋や，三河湾を眺望できる展望台を配置している。周囲には，計画地の尾根筋に見られるツツジ類を植栽し，三河一帯への大パノラマを演出する。



展望ツツジ園



ピクニック園地



三河郷土の谷



東三河あそび宿



管理事務所



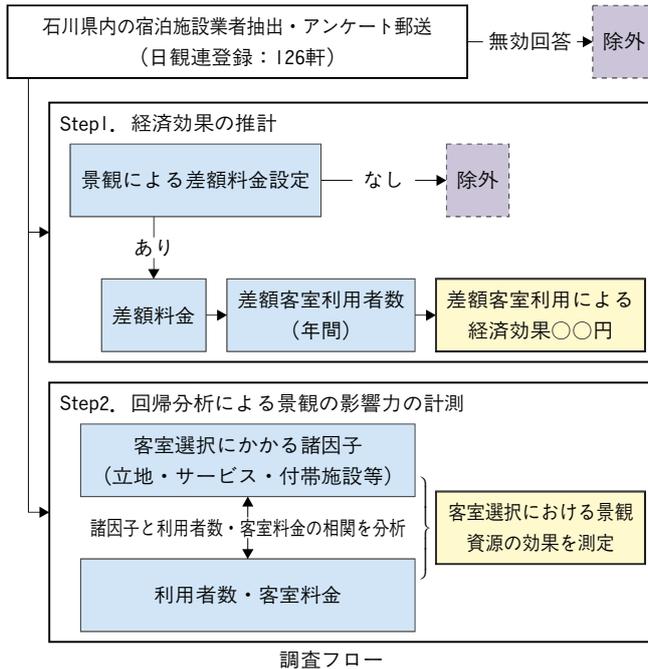
景観の経済価値評価手法検討とケーススタディ —石川県における眺望景観のもたらす経済効果の試算—

株式会社プレック研究所 花房 啓・若松武史・土肥二郎

良好な景観の形成・保全による経済効果や施策展開の投資妥当額の検討に資するため、景観の経済的価値の評価手法について検討し、石川県を対象としたケーススタディを行いました。

基本となる評価手法はヘドニック法を採用しました。なお、ヘドニック法は地価に影響を与える景観などの環境財を抽出してその評価額を明らかにする手法ですが、本件では旅館客室料金を用いた解析を試みました。

石川県を対象としたケーススタディでは、優れた眺望景観は、景観による客室の差額料金として旅館業者に対し年間約35,700万円の直接経済効果をもたらすと推定されました。これは直接経済効果をもたらす1次・2次の波及効果や、他の産業にもたらす経済効果を含んでいませんので、実際の経済効果はこれをはるかに上回るものと考えられます。また、回帰分析による客室料金や利用者数に対する景観の影響力計測では、石川県の旅館業においては、優れた眺望景観は温泉とほ



| 施設名 | 所在地 | 差額 (円) | 利用者数 (人/年間) | 差額料金による年間売上額 (差額料金×利用者数) |
|-----|-----|--------|-------------|--------------------------|
| a | 金沢市 | ¥2,000 | 1,450 | ¥2,900,000 |
| b | 金沢市 | ¥3,300 | 6,000 | ¥19,800,000 |
| c | 珠洲市 | ¥6,000 | 不明 | |
| d | 珠洲市 | ¥2,000 | 7,000 | ¥14,000,000 |
| e | 珠洲市 | ¥2,000 | 不明 | |
| | 珠洲市 | ¥4,000 | 2,000 | ¥8,000,000 |
| f | 輪島市 | ¥1,000 | 129 | ¥129,000 |
| g | 七尾市 | ¥3,000 | 不明 | |
| h | 七尾市 | ¥3,000 | 7,500 | ¥22,500,000 |
| | | | | ¥67,329,000 |

景観に基づく差額料金収入

推定値 = 景観による差額設定はないが、差額相当分が内包されていると考えられる施設における景観による推定売上

$$\begin{aligned}
 &= \left[\begin{array}{l} \text{差額料金を設定} \\ \text{していないもの} \\ \text{の客室から優れた} \\ \text{眺望が得られると} \\ \text{回答した施設の} \\ \text{年間利用者数} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{差額料金を設定} \\ \text{している施設に} \\ \text{おける差額部屋} \\ \text{の利用率} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{実際に差額料金} \\ \text{設定があった額} \\ \text{のうち最低額} \end{array} \right] \\
 &= 704,800人 \times 41\% \times 1,000円 \\
 &= 288,968,000円
 \end{aligned}$$

作品概要

作品名：景観の経済価値評価手法検討とケーススタディ
 対象地：石川県（ケーススタディ）
 発注：国土交通省北陸地方整備局企画部
 事業目的：景観の経済的価値評価手法の検討
 事業期間：2005年1月28日～3月28日

作品評

本業務は「北陸地方における広域景観の保全手法に関する調査業務」のなかの一部をピックアップして応募されたものである。「美しい国づくり」を目指すわが国にとって景観はますます重要なものとなる。

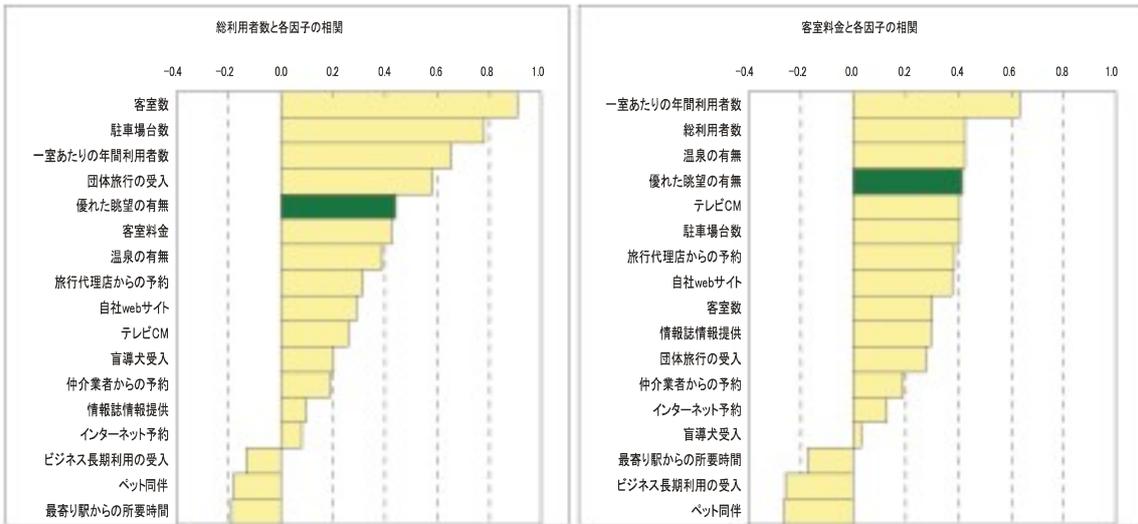
景観の重要性を一般市民にわかりやすく説明し、その保全を図るためには、景観の経済価値評価は説得力のある方法である。本計画は眺望景観を具体的な経済価値に置き換える手法として「ヘドニック法」を採用し、眺望景観による宿泊施設の部屋代の相違に着目し、具体的な価値に置き換えられたところにその特徴がある。ユニークな着眼点、低コスト・短期間で経済効果を算定するアイデアは十分に評価できる。

しかしながら、眺望景観に限定した経済評価の目的、この手法に至ったプロセス、今後この結果をどのような検討に活かしていくのか等、応募資料からは読みとれなかった部分も多く、残念ながら奨励賞にとどまった。（武林 晃司）

ほぼ同様の影響力を有するという結果が得られました。

本検討で提案した旅館業の客室料金を用いた眺望景観がもつ経済効果の推定手法は、対象となる眺望景観や景観資源が多種多様である場合にも効果が測定できることや、旅館客室料金という比較的入手が容易なデータを用いるため情報入手コストが抑えられ、低コスト・短期間で調査が可能であることから、地域の優れた眺望が持つ経済効果を簡易に指標することが可能な手法であるといえます。

本件の経済効果は旅館客室という限られた面からの効果の推定ですが、良好な眺望の景観がもたらす経済効果の一端を示すことで、地域における景観保全に対する投資妥当額検討に資することができるものと考えます。また、対象地域における産業連関表等を併用し波及効果についても評価することが可能であり、景観の影響力を計測する回帰分析についても、地域特性に応じた説明変数を設定することで、地域の特性に応じた幅広い考察が可能になると考えます。



利用客数・客室料金と説明変数の相関

| 説明変数 | 目的変数 | 利用者数 | 一室あたり年間利用者数 | 料金 |
|-----------------|------|--------------|--------------|--------------|
| 客室数 | | 0.909 | 0.377 | 0.299 |
| 団体旅行の受入 | | 0.583 | 0.288 | 0.274 |
| ビジネス長期利用の受入 | | -0.133 | -0.130 | -0.257 |
| インターネット予約 | | 0.083 | -0.047 | 0.128 |
| 仲介業者からの予約 | | 0.191 | 0.123 | 0.187 |
| 旅行代理店からの予約 | | 0.315 | 0.276 | 0.388 |
| 自社webサイト | | 0.291 | 0.337 | 0.378 |
| 情報誌情報提供 | | 0.097 | 0.208 | 0.296 |
| テレビCM | | 0.262 | 0.239 | 0.408 |
| 優れた眺望の有無 | | 0.444 | 0.393 | 0.417 |
| 温泉の有無 | | 0.391 | 0.407 | 0.424 |
| 最寄り駅からの所要時間 | | -0.189 | -0.264 | -0.175 |
| 駐車場台数 | | 0.784 | 0.462 | 0.406 |
| ペット同伴 | | -0.184 | -0.222 | -0.263 |
| 盲導犬受入 | | 0.205 | 0.067 | 0.028 |

目的変数と説明変数の相関

太字は、相関係数が比較的高い変数

特別賞 CLA 2007

2006年チェンマイ国際園芸博覧会（ロイヤルフローララーチャブルック2006） 日本国出展 屋外展示出展「日本庭園」

株式会社プレック研究所 黛 卓郎・石垣良弘・福岡 薫・奥山伊作

チェンマイ国際園芸博覧会「ロイヤルフローララーチャブルック2006」は国王生誕80年および即位60周年を記念し、「博愛の心への賛美（To express the love for humanity）」をテーマにタイ王国チェンマイ市にて開催された国際園芸博覧会となります。本庭園は博覧会における日本国政府の屋外出展庭園として、本博覧会の開催を記念するとともに、両国の友好関係が一層強固になることを祈念し、わが国の伝統的な庭園技法を用いた日本庭園を出展することとしました。

庭園は「慶祝・友好の庭」というテーマを元に、借景や縮景、見立てといった伝統的な庭園技法を用い、

日本庭園の様式の一つである「池泉回遊式」をベースとし、大海に見立てた池と日本のシンボルである富士山に見立てた芝山を中心に、海辺や清流、段々畑など美しい日本の景を縮景し、展開しました。

□庭園のストーリー

まず、祝いの木に迎えられた後、冠木門、生垣で演出されたアプローチに導かれます。そこから庭園を回遊していくと、様々な日本の景を愉しむことができます。海辺のまちをイメージした休憩舎からは、水面に浮かぶ花々や八ツ橋、さらに祝いの象徴である鶴島や亀島、それにつながる雄大な富士山、段々畑、農家、



庭園全景（州浜、芝山（富士山））

作品概要

作品名：2006年チェンマイ国際園芸博覧会（ロイヤルフローララーチャブルック2006）
日本国出展 屋外展示出展「日本庭園」
所在地：タイ王国チェンマイ市
発注：（財）都市緑化基金
設計：（株）プレック研究所
施工詳細図作成 箱根植木㈱
設計協力：なし
監理：（財）都市緑化基金
（株）プレック研究所
施工：箱根植木㈱
設計期間：平成18年1月～平成18年6月
施工期間：平成18年5月～平成18年10月
規模：約1,500 m²
主要施設：大池、芝山（富士山）、休憩舎、冠木門、滝・流れ、花壇、四阿

作品評

本作品は「慶祝・友好の庭」というテーマのもとに、日本庭園技術の特長である借景や縮景、見立てといった伝統的技法を十分に活用した作品に仕上がっている。
日本とタイでは気候・植生は当然ことなるが、アジアモンスーン地帯という共通性もあってか、違和感なくタイの風土にとけ込んだ日本庭園を実現させている。日本庭園の技法として、遠景・中景・近景の三景の構成により遠近感を強調する手法が基本であるが、本作品は遠景であるタイの景観を上手く活用していることが、調和した庭園美を成立させていることによると考えられる。また、庭園建築物も、日本の伝統的である屋内外の連続性を重視した構成になっており、そのようななかで日本の伝統芸能、祭事等も紹介され、「慶祝・友好」というテーマをはたしているのが受賞の理由である。
ただし、見立ての技法としての富士山型築山の表現をおさえ、隠喩としての奥深い表現を研究して精神的に奥行き感のある意匠を検討してみる余地はあったのではないかと意見もあったことを申し添えておく。（丸山 英幸）

流れや森、丘陵への奥行きのある景を愉しむことができます。

□空間構成

庭園全体の構成としては、南東側に入口を設け、視点を東および南側に設けることにより丘方向への奥行きのある景を作り出すとともに、遠景の丘陵を借景

として取り込むことにより、雄大な景を作り出すこととしました。

主な視点場となる東側に休憩舎を設け、近景として池、中景として富士山、丘を利用した田園、深山、遠景として周辺の丘陵へと連なる奥行きのある景の演出を図る構成としました。



庭園全体（溪流，池，芝山）



表門（冠木門）



八つ橋，休憩舎



滝

特別賞 CLA 2017

第23回全国都市緑化おおさかフェア 「西の丸地区」“もてなしの花座敷”

環境設計株式会社 杉井昌勝・大野和美

本作品は大阪城公園内で開催された、第23回全国都市緑化おおさかフェア会場「西の丸地区」内に位置する政令指定都市出展花壇“もてなしの花座敷”である。政令指定都市（13都市）が協力し合い、全国の都市の中心となり花と緑のまちづくりを日本の隅々にまで広げていくことを表す大花壇とした。

本地区は、通常は有料の「西の丸庭園」として迎賓館や櫓の鑑賞のほか、天守閣を眺めながらの休憩やお花見の場として親しまれている。設計は敷地の大部分を占める芝生広場と、その外周の樹木を最大限に活用して、背後に見える天守閣の眺望を引き立てる花壇づくりを行った。また、花壇の配置は西の丸地区の入場ゲートをくぐった正面とし、来場者をあたたかくもてなすウエルカム花壇として配置した。

青々とした芝生を大広間（座敷）に、正方形の花壇を花の座布団に見立て、座敷に花の座布団を敷き詰めていくさま、すなわち、“日本中の都市が花と緑で埋めつくされていくイメージ”とした。1段高さを上げた大きな花壇柵を13カ所設定し、政令指定都市として位置付けた。それらが中心となり、計画的にかつ確実に都市緑化を普及させていくことを表した。

整然とした正方形の花壇デザインは、都市基盤の確実な整備や、健全で着実なまちづくりを表し、市松模様（和の模様）をデザインモチーフとしている。全体の平面形状は、人が両手を広げ、来場者をあたたかく迎え入れ、包み込むような仕草をイメージしているとともに、花と緑のまちづくりを全国に広げる様子を表している。



もてなしの花座敷と天守閣

作品概要

作品名：第23回全国都市緑化おおさかフェア「西の丸地区」
「もてなしの花座敷」
所在地：大阪市中央区大手前4丁目，大阪城
発注：第23回全国都市緑化おおさかフェア実行委員会事務局
→(株)ランドスケープコンサルタンツ協会
設計：環境設計(株)
設計協力：(株)スタジオアーバンスペースアート，キタイ設計(株)
監理：第23回全国都市緑化おおさかフェア実行委員会事務局
植物デザイン監理：環境設計(株)，(株)グリーンダイナ
ミクス
施工：友愛建設工業(株)，(株)環境総合テクノス
設計期間：2005年7月～2006年3月
施工期間：2005年10月～2006年3月
規模：約0.4 ha
主要施設：市松模様の大花壇，扇形の展望デッキ，展望正面デ
ッキ，芝生広場，修景花壇

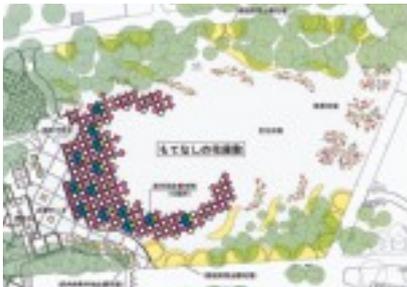
作品評

本作品は緑化フェアにおける大阪城公園内「西の丸地区」西の丸ゲート入り口での大規模花壇の演出である。この事業は政令指定都市（13都市）が一体となって花壇出展を行い，花と緑の緑化事業の推進を伝えるものであり，その成功のためには，ランドスケープアーキテクトとしての空間演出だけでなく，多くの人，事をコーディネートする力が求められ，それに対して堅実に答えている事が評価される。

仮設整備という条件の中，大規模に広がる市松花壇はにぎわい，やすらぎを生み出し，その結果「もてなし」空間の創出に成功している。今後，この成功をふまえ，緑化フェア自体が仮設整備を逆手に取ったデザイン，フェアにおける仮設デザインが恒久的に周辺のランドスケープに波及し影響を与えるデザインなどと展開して行く事が望まれる。（金清 典広）



天守閣から見た「もてなしの花座敷」



左：「もてなしの花座敷」周辺平面図 中右：記念写真を撮る来場者



正面デッキから見た「もてなしの花座敷」



社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES)*の構築

株式会社東京ランドスケープ研究所 小林 新・菊本 譲・永野真利子

国が進める民有地緑化推進施策に加え、近年では、企業が取り組むCSR(企業の社会的責任)等の一環として、緑の保全・創出による環境・社会への貢献活動の促進が重要となっている。

本業務では、企業等有する緑地の持続性の担保を支援・推進するため、「ISOの緑地版」とも言える「緑地の評価システム」の構築を行った。

これまでの緑の量的な評価に加え、質的評価を行うための「評価基準」「評価の仕組み」を検討し、「審査員の養成」を含めたシステムを、社会・環境貢献緑地評価システム(Social and Environmental Green Evaluation System)として構築した。

一定の基準に沿った価値の高い緑地としてマネジメントが推進されるための総合的な評価システムの構築と活用を目指し、システム運用を確実にするための仕組みの確立と、システムの普及による企業の社会貢献活動における緑の創出・保全の重要性の認識を高めるとともに、企業緑地の維持・管理・運営を支援するためのあり方について検討を行い、企業等との協働による良好な都市環境の形成、緑化の推進を実践するものである。

*SEGES: Social and Environmental Green Evaluation System

■ SEGESの審査基準となる3つの原理と将来性評価



作品概要

作品名：社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）の構築
 対象地：全国区域
 発注：国土交通省都市・地域整備局公園緑地課
 事業目的：企業等が有する緑地の持続性の担保を支援・推進するため、これまでの緑の量的な評価に加え、質的評価を行うための「評価基準」「評価の仕組み」を検討し、「ISOの緑地版」とも言える「緑地の評価システム」の構築を行った。
 事業体制：(財)都市緑化基金→(株)東京ランドスケープ研究所
 協働者等：(財)都市緑化基金
 事業期間：平成16年7月1日～平成19年3月31日（次年度以降も継続検討予定）

作品評

本作品は、企業等が有する緑地の持続性の担保を支援・推進する「緑地の評価システム：SEGES」の構築についてまとめたものである。
 近年、企業のCSRとして、緑の保全・創出による環境・社会への貢献活動の促進が重要となっている。本作品において構築されたSEGESは、量的な評価だけでなく質的な評価を取り入れて緑地を評価し、評価結果をわかりやすいアイコンでラベリングしており、緑地の保全・創出や取り組みを持続的に取り組む意義や価値を広く世間にアピールするツールとして、大企業を中心に採用されている。
 ランドスケープが追求する環境的な価値観と企業が求める社会・経済的価値が重なり合うとき、環境の維持・改善に貢献する空間を創出し、その質を高め、かつ持続的に維持する動機と機運が生じる。SEGESは、ランドスケープが発揮する環境に対する貢献を社会・経済的なシステム中に反映する手段であり、未来に向けランドスケープの社会的な価値の向上に大きく寄与するものとして高く評価した。（岡田 信行）

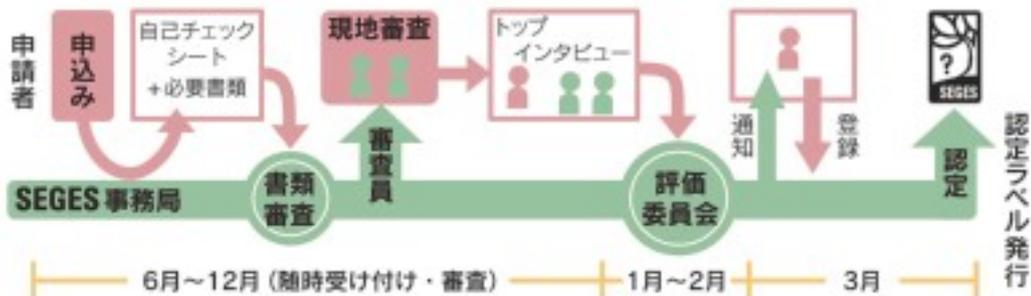
■ SEGES の評価イメージ



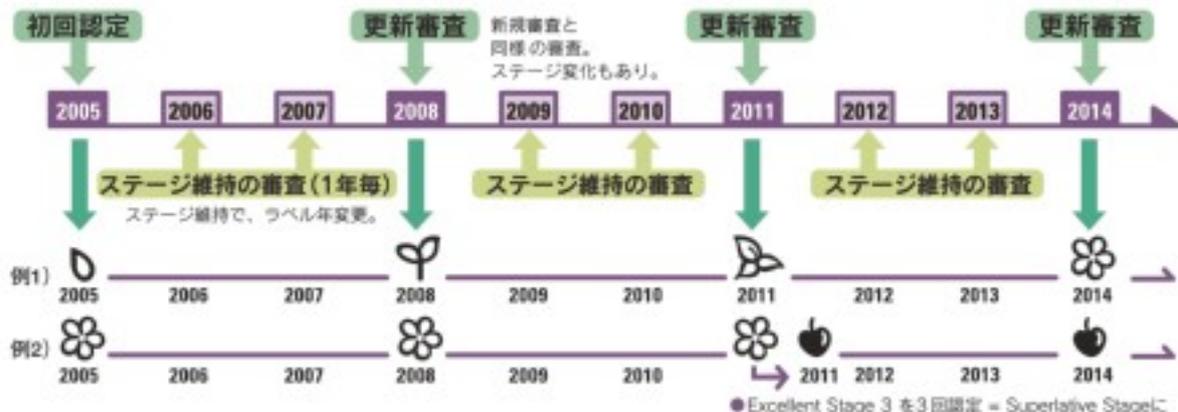
■ SEGES 5段階の認定ラベル



■ 新規審査の流れ



■ 認定の継続



狩谷達之 (かりやたつゆき)

1953年東京生まれ。1976年日本大学農獣医学部林学科を卒業。現在、㈱環境・グリーンエンジニア技術部長。技術士・RCCM・RLA。都市公園コンクール・ランドスケープコンサルタンツ協会賞・東北地整優良業務表彰等を受賞。特殊空間緑化から生き物との共生空間まで、幅広いランドスケープ空間作りに取り組む。



小林哲央 (こばやしてつお)

神奈川県川崎市在住。平成6年東京農業大学農学部造園学科卒業。㈱カーター・アート環境計画(現㈱環境・グリーンエンジニア)入社。技術第二部設計計画課に在籍。都市公園緑地、道路造園、空港緑地等の造園計画、設計、監理業務等に携わる。現場にやさしい設計を心がけている。



鈴木 良 (すずきりょう)

1974年東京都多摩市生まれ。東京農業大学農学部造園学科卒業。現在、㈱環境・グリーンエンジニア技術部。幼少期にみた富士見通り(宝野・奈良原公園)のvistaに魅せられランドスケープを志す。主な仕事、横浜市関ヶ谷市民の森実施設計・川崎市富士見公園(基本・実施設計)など。



白井浩司 (しらいこうじ)

1979年東京農業大学農学部造園学科卒業。登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。同年㈱グラック入社。「場」の特性を活かした、居心地の良い屋外空間づくりを目指す。さまざまなランドスケープの計画・設計に携わるが、特に住宅団地の計画・設計の実績が多い。



高橋 彩 (たかはしあや)

2001年東京農業大学農学部造園学科卒業。同年株式会社グラック入社。主に住宅団地や公園の設計に従事。ひとがふと思いつく楽しい思い出や懐かしいことの背景がいい空間であるように、こころに残る空間をつくることを目指して日々格闘中です。



八色宏昌 (やいろひろまさ)

2002年東京農工大学大学院卒業。同年㈱グラック入社。生きものや自然の素材を丁寧に扱い、美しくエイジングする場づくりを目指してヌーヴェル赤羽台、アーベインピオ川崎、多摩平団地等で実践。身近な所から風景・文化・自然資産を探求し、継承・再生することを目指している。



山本紀久 (やまもとりのひさ)

1940年生まれ。東京農業大学卒業。73年、㈱愛植物設計事務所設立。登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。風土を表す「植物」を中心に、そこに関わる「生物」も含めた「生命体」に関する知識と体験を基軸とした「いきもの」ランドスケープとマネジメント技術の習得をめざす。土地の様相を見極めるための現場を重視し、調査～計画～設計～生産～施工～管理の「一貫性」を追求する。



趙 賢一 (ちようけんいち)

1956年千葉県生まれ。筑波大学第二学群農林学類卒業。技術士(環境部門)。(㈱愛植物設計事務所代表取締役。植物を基軸とする生態系の調査・解析・評価をもとに、土地の資質を読みとり、自然環境の保全ならびに活用に関わる各種の計画立案を行うことを専門としている。最近では、自然環境の持続的活用、生物多様性の保全、外来種の管理に関わる実践的な仕事に取り組んでいる。



藤田泰介 (ふじたたいすけ)

1976年愛植物設計事務所に入社。代表山本紀久と共に「人と生き物が共生する環境づくり」を実践。東京デザインランド植栽設計・横浜国際競技場所植栽設計・WS方式による杉並区柏の宮公園設計。現在、柏の宮公園のボランティア活動に参加し、田んぼづくり等設計主旨を実践。



板垣範彦 (いたがきのりひこ)

1997年東京農業大学造園学科卒業。同年株式会社愛植物設計事務所入社。プロジェクトを通して生態的設計思想にふれる。主な担当業務は工場緑化における沿岸の森づくり、河川や湖沼の水辺環境にかかわる設計など。ランドスケープアーキテクトとして生き物である人を含めた自然がどうあるべきかを提案し、持続的な社会に貢献できたらよいと考えている。



佐藤 力 (さとうりき)

1971年東京都生まれ。1995年明治大学農学部農学科卒、同年株式会社愛植物設計事務所入社。現在同調査計画部課長。主に自然環境および希少動植物の保全・再生、自然環境の調査と保全・管理計画等に従事、特に市民協働による公園の維持管理で日々奮闘中。



大塚生美 (おおつかいぐみ)

福島県生。筑波大学大学院生命科学研究所博士課程修了博士(農学)。技術士(都市及び地方計画)。愛植物設計事務所プロジェクトアドバイザー。財団法人林業経済研究所研究員。都市及び農村の緑地を中心とする土地利用調整、開発地の自然環境保全調整の調査手法・計画立案、林業経済。



中西広樹 (なかにしひろき)

㈱ヘッズ代表取締役。1960年大阪府生まれ。千葉大学園芸学部卒業。1983年～㈱大塚造園設計事務所(現㈱ヘッズ)。2007年～㈱ヘッズ代表取締役。技術士(都市及び地方計画)、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。



鈴木康平 (すずきこうへい)

1976年横浜市生まれ。千葉大学大学院(環境計画学専攻)修了。2001年～㈱ヘッズ。登録ランドスケープアーキテクト(RLA)、京都造形芸術大学非常勤講師。



平嶋 孝 (ひらしまたかし)

1953年熊本生まれ。東京農業大学農学部造園学科卒業。1983年(㈱)大揮環境施設計画事務所設立。登録ランドスケープアーキテクト(RLA)、技術士(都市計画部門)／総合技術監理部門、博士(アドミニストレーション)、熊本県立大学総合管理学部非常勤講師(社会の基礎、地域社会論、地域産業論)。くまもとを舞台としたランドスケープアーキテクトとしての先駆的活動(造園大賞；東京農業大学)。趣味；細川流盆石、盆景、盤景。



川越浩正 (かわごえひろまさ)

熊本市生まれ。1994年南九州大学卒。(㈱)大揮環境計画事務所環境設計主任。休日はボーイスカウトの隊長として子供達の育成に取り組む。未来を担う子供達のために、地球に優しい環境づくりをテーマとした公園づくりに奮闘。1級造園・土木施工管理技士、KABSE九州橋梁工学研究会所属。



山本久子 (やまもとひさこ)

熊本市生まれ。1978年熊本短期大学卒業。保育士として5年間勤務、その後㈱大揮環境計画事務所に入社。㈱大揮環境計画事務所環境計画室長。異色の経験や女性としての視点を生かし、緑豊かなまちづくり計画等の業務に取り組む。技術士(建設部門/都市及び地方計画)、RCCM(造園)。



高橋みどり (たかはしみどり)

1964年熊本生まれ。熊本工業高等学校卒業。違う業種からこの世界に入り、気が付けば10年が過ぎていました。今回このような賞を頂き光栄に思っています。趣味は愛犬との公園めぐり。熊本本の公園制覇も近いかも!! です。



河島泰斗 (かわしまたいと)

1998年京都大学総合人間学部人間学科学卒業。同年㈱ブレッック研究所入社、現在、環境共生部主査。主に、農村振興、歴史・文化的景観の保全、世界遺産や産業遺産の保全・活用など、地域資源活用や地域活性化に係る計画策定・政策立案に従事。技術士(環境部門:環境保全計画)。



辻阪吟子 (つじさかぎんこ)

1981年京都大学文学部(心理学専攻)修士課程修了。同年ブレッック研究所入社。現在、執行役員(行政計画部部長兼務)。主に地域環境管理等行政計画・施策立案に従事。技術士(総合技術監理部門:環境保全計画、建設部門:建設環境、環境部門:環境保全計画)。



吉田禎雄 (よしただお)

1995年早稲田大学大学院工学研究科(建設工学専攻)修士課程修了。同年㈱ブレッック研究所入社、現在、都市・地域計画部次長。主に、農村振興、景観関連業務に従事し、市町村の農村振興基本計画策定業務、景観法に基づく景観計画策定業務等に携わる。技術士(農業部門:農村環境、建設部門:都市及び地方計画)。



水野一実 (みずのかずみ)

東京都出身。東京農業大学造園学科卒。㈱東京ランドスケープ研究所で基礎を学ぶ。㈱トデックにて浦安2号近隣公園CLA優秀賞。港区立芝公園ではワークショップから監理まで行い19年度都市公園コンクール「都市・地域整備局長賞」受賞。また青山表参道町会・商店会へ企画・提案した第18回緑のデザイン賞応募作品「国土交通大臣賞」受賞。



佐藤賢一 (さとうけんいち)

岩手県出身。早稲田大学大学院修士課程(都市計画)修了。平成12年なりわい文化都市研究室を設立し、その後トデックの技師長を経て、今年5月から㈱価値総合研究所/実践的まちづくり室長、主席研究員。多摩美術大学環境デザイン学科非常勤講師(都市デザイン論)。後藤春彦研究室仕込のまちづくり手法を基に浦安東地区2号近隣公園では、マンション住民の活動組織立ち上げから市民参加型ワークショップ・年間イベントのコーディネートを行った。



鈴木良樹 (すずきよしき)

1969年武蔵工業大学建築学科卒業。1974年㈱トデック入社。技術士/都市及び地方計画。まちづくり、住宅地設計、駅前広場計画設計、景観計画、環境デザイン設計、サイン設計など/代表作品として金沢駅東広場、鳩山ニュータウンなどがある。



越智常博 (おちつねひろ)

1951年愛媛県出身。1974年東京農業大学造園学科卒業。同年㈱トデック入社。公園計画・設計、大規模住宅団地の環境整備計画、街づくり等の業務に従事し1991年から環境計画部長、現在企画部に所属。日本橋橋詰め広場、皇徳寺NT、鳩山NT、太陽ヶ丘NT、台湾でのNT計画等、西新井大師周辺地区景観まちづくり、稲毛海浜公園施設設計(W杯サッカー公認キャンプ地関連)等



春田美保 (はるたまほ)

石川県出身。平成11年金沢工業大学工学部建築学科卒業。同年㈱トデック入社。以来、都市マスタープラン、景観ガイドライン等のまちづくり業務を経て、公園計画・設計、駅前広場計画・設計等の業務に従事。主な作品:蘇我臨海公園、おたかの森駅交流広場、八潮駅前広場、船橋日大前駅前広場、隅田川サイン設計等



西山秀俊 (にしやまひでとし)

1992年東京農業大学農学部造園学科卒業。2000年㈱グラック入社。登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。公園管理支援システム「Park Manager」の開発をはじめ公園緑地の管理運営、マンション緑地の再生などに関わる。時代を見据えたランドスケープの職能のあり方を模索し、実践することを目標に活動中。



並木 崇 (なみきたかし)

2005年武蔵工業大学環境情報学部卒業。同年㈱グラック入社。現在までにS市ビオトープネットワーク計画やヌーヴェル赤羽台実施設計、黒川谷ツ公園管理計画に従事。出来るだけシンプルに野生生物の生息空間を拡張することを目指している。



岸井悠子 (きしいゆうこ)

2005年東京農業大学造園科学科卒業。同年、㈱グラック入社。新しいスタイルを提案する低層型マンションのランドスケープや里山公園のランドデザイン、公園のリニューアルデザインなどを担当。その場の魅力を活かして、美しく、愛着もてるランドスケープデザインを目指している。



水野妙子 (みずのたえこ)

登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。都市緑化を中心に、様々な植物の特徴を生かしながら人間の五感や歴史を通じて、植物と人との良好な関係が継続できる景観の研究に従事している。主な作品:国立広島原爆死没者追悼平和祈念館/東京都江東高齢者医療センター/有明・癌研究会病院/新宿伊勢丹本店アイ・ガーデンなど



仙田 満 (せんだまん)

1941年横浜生まれ。1964年東京工業大学卒。工学博士。環境デザイン研究会会長・東京工業大学名誉教授・環境建築家。菊竹清訓建築設計事務所を経て、1968年環境デザイン研究所を設立。日本建築学会副会長、会長を歴任。現在こども環境学会会長、日本建築家協会会長、日本学術会議会員。



松木譲二 (まつきじょうじ)

主に児童館、科学館、博物館、スポーツ施設、住宅等の設計、監理を担当。猿島公園施設は地元横須賀の計画ということで、QBSから参加し設計、監理までを担当。「市民対話会」を8回、「ミニレクチャー」を3回開催していますが、施設はどのように使われるかが大切であり、今後とも深く関わってゆきたいと考えています。



水谷光良 (みずたにみつよし)

1951年生まれ。大学、大学院での専攻は生態学、エコロジーの視点を活かした展示・建築・造園の一体的な設計に多くの実績を持つ。主な作品は浜松科学館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、福井県児童科学館、アクアワールド茨城県大洗水族館、関門海峡ミュージアム等。趣味は、チェロ演奏とサッカー（かろうじて現役）。



長谷川一久 (はせがわかずひさ)

昭和29年8月25日生まれ。関東学院大学建設工学科卒業後、丹下健三都市建築設計研究所など建築設計事務所数社を経て平成5年環境デザイン研究所入社。以来、主要プロジェクトに参画。猿島公園では、建築実施設計、監理を担当。



佐藤哲士 (さとうてつじ)

平成1年環境デザイン研究所入社。猿島公園整備においてQBSから参加。「市民対話会」においてはプログラム、運営計画などのサポートを担当、市民参加の新しい取り組みに参加。今後猿島公園が市民により育まれてゆくことを期待しています。



佐藤文昭 (さとうふみあき)

昭和44年4月8日東京生まれ、平成7年3月京都大学大学院農学研究科卒、同4月㈱環境デザイン研究所入社。富岩運河環水公園、秋田市太平洋自然学習センター、高尾の森わくわくビレッジなど、全体の敷地計画やランドスケープ・遊具の仕事も多く手がけ、既存の自然資源と調和した一体的な施設・景観創出を目指す。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。



仙田 考 (せんたこう)

千葉大学園芸学部緑地・環境学科卒、英国レディング大学大学院園芸・ランドスケープ専攻博士課程修了。主な設計実績は、君津市立坂田小学校校庭整備計画設計、猿島公園、知的障害者援護施設「やすらぎの杜」、ゆうゆうのもり幼保園、港区立飯倉保育園・学童クラブ、四街道さつき幼稚園、ふたばランド保育園など。



落合千春 (おちあいちる)

平成8年に環境デザイン研究所入社。猿島公園では、周囲の自然環境に調和したわかりやすいサイン計画を目指した。その他、秋田市太平洋山自然学習センター、エコールみよた、東京工業大学、健康パークあざい、愛和病院 ANNEX、湊区立飯倉保育園・学童クラブ、四街道さつき幼稚園等のサイン計画を手がける。



和田克臣 (わだかつおみ)

1980年九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科生活環境専攻修士課程修了。1984年株式会社ブレック研究所入社。環境・ランドスケープの計画・設計・監理に従事。技術士 (建設部門/都市及び地方計画、河川・砂防及び海岸、環境部門/自然環境保全)、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。近年は庭園の修復や登山道の保全修復などの業務にも従事しています。



長谷川均 (はせがわひとし)

1981年福井工業大学建設工学科卒業。同年㈱ブレック研究所入社。現在、同北陸事務所長。主にランドスケープなどの計画設計に従事し、佐渡トキ野性復帰ステーションやくじゅうやまなみキャンプ村設計などに携わる。技術士 (建設部門、環境部門)、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。



山口朋浩 (やまぐちともひろ)

1992年東京農工大学造園学科卒。同年株式会社ブレック研究所入社。現在同企画開発部次長。主に環境整備に関する計画設計・企画開発に従事。技術士 (環境部門：自然環境保全、建設部門：都市及び地方計画)。



玉井邦治 (たまいくにはる)

1967年12月14日大阪府吹田市生まれ。大阪芸術大学芸術学部環境計画学科卒業、1991年株式会社ブレック研究所入社。大阪事務所を経、現在中部事務所。動植物園や各種都市公園の計画・設計に従事。技術士 (建設部門：都市及び地方計画)、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。



花房 啓 (はなふさけい)

1956年兵庫県生まれ。80年京都大学農学部林学科卒業。同年㈱ブレック研究所に入社。以来環境アセスメント・モニタリング・環境保全対策、環境管理・環境基本計画等に従事し、現在、取締役環境部部長、システム情報部部長。この間、国土交通省から2度にわたり優秀技術者表彰を授賞する。趣味は、チェロ演奏。



若松武史 (わかまつたけし)

2000年東京農工大学大学院修士課程農学研究科環境資源学専攻修了。同年㈱ブレック研究所に入社。主に土壌を中心とした自然環境調査、緑化、地球環境問題等に従事。測量士補。ブレック研究所を経て、現在、中学で理科教師。



土肥二郎 (とひにろう)

1990年米國テンブル大学地理学科卒。同年㈱ブレック研究所に入社。主に環境計画、環境アセスメントに従事。環境部主査。1991年に洗礼を受け、以来キリスト者として歩む。所属教会で日曜学校副校長兼小学校高学年クラスの担任を務める。



石垣良弘 (いしがきよしひろ)

1988年武蔵工業大学工学部建築学科卒。89年株式会社ブレック研究所入社。現在、環境設計部部長 (文化財保護研究センター部長兼務)。「人と自然の最適な関係」を求めて、主に造園/ランドスケープ計画・設計、文化財の保存活用に係る計画等に従事。技術士 (建設部門：都市及び地方計画)、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。



福岡 薫 (ふくおかかおる)

1965年生まれ東京育ち。日本大学生産工学部建築工学科卒。ゼネコン等建築関係の会社を経て、ランドスケープアーキテクトを目指し1992年株式会社ブレック研究所に入社。現在環境設計部所属。都市公園、動物園などに関わる建築、ランドスケープの計画・設計に従事。一級建築士、登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。



奥山伊作 (おくやまいさく)

1973年茨城県石岡市生まれ。秋田大学鉱山学部土木環境工学科卒業。河川関連のコンサルタントを経て、2005年株式会社ブレック研究所に入社。現在中部事務所勤務。都市公園や河川公園、動物園など、ランドスケープの計画・設計に従事。今年、父親になりました。



杉井昌勝 (すぎいまさかつ)

1959年大阪生まれ。南九州大学園芸学部造園学科卒業後、環境設計㈱に入社。取締役、設計部長。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)、技術士 (都市及び地方計画)。すべてに対してデザイン性を追求し“ものづくり”を行う。現在「いきものとのふれあい」、「人とのふれあい」を重視して、“ワークショップなど”ことづくり”にも力を注いでいる。



大野和美 (おおのかずみ)

環境設計㈱勤務。今年の夏は自宅のベランダでひまわりを育てました。ひまわりなので部屋の方にはそばを向いて、外ばかりに愛想を振っていましたが、道行く誰かが花に気がついて、ちょっと心なだりしてくれたらいいかなと思っています。



小林 新 (こばやししん)

1964年東京都生まれ。1990年千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。1996年カリフォルニア州立工芸大学ボモナ校環境デザイン学部造園学科修士課程修了。㈱東京ランドスケープ研究所常務取締役。技術士 (建設部門)。主に緑地に関する調査・計画業務に従事。



菊本 譲 (きくもとゆずる)

1965年広島生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、インテリアコーディネートの世界に入るが、一転ランドスケープの世界へ。主に緑地に関する調査・計画業務に従事。



永野真利子 (ながのまりこ)

1978年生まれ。2004年日本大学大学院理工学研究科建築学専攻卒業。2005年㈱東京ランドスケープ研究所入社。ランドスケープ計画・設計業務に従事。主に携わった業務は漱石公園リニューアル検討業務、流山新市街地区街区公園・緑地等マスタープラン等。



□お知らせ



2016年東京オリンピック招致
みんなでつくろうオリンピック花壇

CLA関東支部では、『こどもたちに夢をもう一度』をスローガンに、2016年夏季五輪招致活動に積極的に支援するため、日比谷公園ガーデニングショー会場にオリンピック招致ロゴ花壇を制作いたしました。当日は、一般都民の方々や子供達・学生などの参加を得て花壇作りが行われ、オリンピック招致に向けた都民の意識を高めることに貢献いたしました。





CLA 賞の趣旨と募集・選考のあらまし

CLA 賞の趣旨



CLA 未来委員会委員長 枝吉 茂種

ランドスケープコンサルタンツ協会賞 (CLA 賞) は、会員の優れた作品や業務を顕彰し、協会内部だけでなく広く社会に紹介し、協会全体の発展に寄与していくことを目的として設けられたものである。

この賞は、ランドスケープ分野のプロフェッショナルが、会員の行ったランドスケープのプロの仕事から自ら真摯に評価し、優秀なものを選定するというシステムに特徴がある。プロがプロを、手前みそにならずに評価する、というのは、言うは易いが実施はなかなか困難であるが、CLA 賞は20余年の長きにわたってこの趣旨を継続しており、様々な顕彰制度が見直しの時期にある中で、希有な存在と評価されている。これもひとえに会員の皆様の情熱、選考委員や技術委員の熱意に支えられてのことであり、担当者として深く感謝する次第である。

募集・選考のあらまし

今回も多くの作品が提出され、別記の受賞作が決定した。今回 (2007年) は、①選考委員の透明性のある選出と募集要綱での明記、②外部からの選考委員参加、③審査結果の公表、④受賞作品を広く外部にも知らしめる等、CLA 賞の募集・選考と活用の方針に基づき、2007年2月5日を応募期限として作品等を募集し、その後、選考委員会を開催してCLA 賞を決定した。

CLA 賞は毎年、「設計」「調査・計画」「表現・活動」の各部門とそれぞれの部門に一般部とテーマ部に分けて作品を募集しており、今年のテーマ部のテーマは、「美しい国土づくりとランドスケープ」として作品の募集を行った。

この趣旨は、安倍前首相の政権構想が「美しい国、日本」でスタートし、「美しい国」という言葉が話題に上ることが多くなったこと、国土交通省が「美しい国づくり政策大綱」を打ち出し、これらを背景に景観緑三法が全面施行され、また、「観光立国」も政策のひとつとして脚光を浴びていることに着目したもので、まさに時代の句をテーマとして定

めたものであった。

作品の応募と選考結果

今年は、設計部門の応募作品が例年に比べ少ない傾向にあったが、調査・計画作品、ワークショップなどの活動作品が増加したことにより、調査・計画部門、表現・活動部門への応募が増えた傾向があった。

応募された作品は、いずれも優れた作品であったため、応募作品数18点のうち、15点が受賞作品となった。

応募作品数・選考結果は、下表の通り。

| 部 | 部門 | 応募数 | 最優秀賞 | 優秀賞 | 奨励賞 | 特別賞 |
|-----|---------|-----|------|------|------|------|
| 一般 | 設計部門 | 6点 | 該当なし | 3点 | 1点 | 1点 |
| テーマ | | 3点 | 該当なし | 1点 | 1点 | 1点 |
| 一般 | 調査・計画部門 | 2点 | 1点 | 1点 | 該当なし | 該当なし |
| テーマ | | 2点 | 該当なし | 該当なし | 1点 | 該当なし |
| 一般 | 表現・活動部門 | 3点 | 該当なし | 3点 | 該当なし | 該当なし |
| テーマ | | 2点 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 1点 |

選考委員会

前述のとおり、選考委員会は、CLA 会員企業の技術者だけでなく、学識経験者なども加えて、客観的な視点も加味して選考に当たれるように人選を行った。選考委員の名簿は以下のとおりである。

1. 設計部門

- 委員長 北川明介 (株) グラック)
- 委員 金清典広 (高野ランドスケーププランニング(株))
- 〃 須藤 哲 (株) 戸田芳樹風景計画)
- 〃 関西剛康 (株) 中根庭園研究所)
- 〃 藤江哲也 (株) 三菱地所設計)
- 〃 丸山英幸 (株) 愛植物設計事務所)
- 〃 宮田倫夫 (財) 東京動物園協会)

2. 調査・計画部門

- 委員長 島田正文 (日本大学生物資源学部)
- 委員 石井ちはる (株) 総合設計研究所)
- 〃 菊谷 隆 (株) オオバ)
- 〃 武林晃司 (株) 緑景)
- 〃 宮入賢一郎 (株) KRC)

3. 表現・情報部門

- 委員長 村岡政子 (株) ライフ計画事務所)
- 委員 井上 元 (株) インタラクシオン)
- 〃 岡田信行 (株) タム地域環境研究所)
- 〃 小林高浩 (株) 飯沼コンサルタント)
- 〃 杉井昌勝 (株) 環境設計(株))

※肩書きは、選考委員会開催当時

支部活動報告

- ・ GIH 協賛企画「小さな庭のデザインコンクール」
- ・ 地域活動助成報告
- ・ ランドスケープから見た〈スポーツと環境〉シンポジウム報告
- ・ “みどりの5団体合同フォーラム” 学生設計競技2006
- ・ 設立25周年記念事業

北海道支部 GIH 協賛企画「小さな庭のデザインコンクール」

北海道の花と緑には大きな可能性がある。私たちはその可能性を「ガーデンアイランド北海道」という言葉に込め、2008年を目標に大きな道民運動を展開している。道民一人一人が、身の回りの花や緑に関心を向けて、自らできる取り組みを通じて、美しい北海道づくりに貢献しよう、その結果として、元気な北海道を実現しようというのがこの取り組みの趣旨だ。

北海道支部は平成14年度から今年まで5カ年にわたり「ガーデンアイランド北海道2008」の実現に向けて、この活動に主体的に協力してきた。平成17年度は事業企画書の作成担当

となり、平成17年度の地域助成金300,000円を受け特別委員会を立ち上げ企画書の作成をした。

平成18年度は、地域助成金450,000円を受け、企画書に基づき会場デザインコンクールを行った。

本コンクール企画は、「小さな庭のデザインコンクール」と称し、個人庭園のデザインや施工技術のレベルアップと、個人の庭が街並み景観の向上へつながるきっかけと成って行くことを目指したものだ。

まず、コンクールの対象となる庭の募集を行い、応募された4カ所の内3カ所の庭について、(株)日本造園学会北海道支部などの協力を得て、

学生、一般が参加したデザインコンクールを行った。そこで大賞を受賞した作品について、実際に施工をするために、(株)北海道造園緑化建設業協会などの協力を得て、2カ所の庭の施工のため、プロポーザル方式で施工業者の特定を行った。

6月の下旬から、それぞれの庭の施工が開始され、8月初旬に完成した。



審査風景



GIH 大賞、A 邸オーナー賞
札幌高等専門学校 4年 小山あかりさんの作品



C 邸オーナー賞
札幌高等専門学校専攻科1年 宮田小百合さんの作品

東北支部 地域活動助成報告

東北支部企画は、「風景としての東北再発見」ミニフォトコンテスト(2006年10月～2008年3月実施期間)として、支部HPなどで応募を開始している。支部のメールで作品の投稿とした。すでに「作品募集」案内は2007年11月で3回目の直接案内を

実施、2008年5月の応募作品審査と表彰・展示会などを予定している。

海外で紹介している「美しい東北の風景＝ランドスケープ」はすでに記憶として封印されてないか、描画技法の優劣ではなく、「東北の風景・再発見」そのものを紹介したいと考えている。

古代奈良の都以降、東北の地は「自然の恵み・美しい意風景と金銀鉱物資源の宝庫」として受け継がれてきた「東北の風景」をアルバムの中に埋もれることなく、CLA東北も次代に引き継ぐ必要を痛感している。激変の次代を歩んだ団塊世代にも応募を期待。



応募作品-1 早春の舟形山



応募作品-2 古都平泉の秋

関東支部 ランドスケープから見た〈スポーツと環境〉シンポジウム報告

CLA 関東支部では2016年のオリンピックの日本招致を実現するため、環境と文化を大切にしたい都市の再生を目指した「緑と文化の回廊構想」を提言するなど、さまざまな支援活動を行っています。その一環として2006年5月24日、東京ビッグサイトにおいて「ランドスケープから見た〈スポーツと環境〉シンポジウム」

(主催：CLA スポーツ環境シンポジウム実行委員会、エコ・グリーンテック実行委員会)を開催しました。

シンポジウムではまず、蓑茂寿太郎熊本県立大学理事長による基調講演「オリンピック開催都市の環境とランドスケープ」に続き、パネルディスカッション「緑の環境がスポーツと人を結ぶ」(パネリスト：田中ウルヴェ京、井

口典夫、宮城俊作、上山良子、住吉泰男、コーディネーター：蓑茂寿太郎の各氏)が開かれました。会場ではランドスケープという視点を中心にしながらもその枠を超えた幅広い分野の人々との意見交換繰り広げられ、暑い熱気に包まれました。最後に「スポーツ環境ランドスケープ宣言2006」(下記)を採択し、成功裡に幕を閉じました。

わたくしたちは、緑とオープンスペースの環境づくりの専門家の立場から、オリンピックなどの大規模国際スポーツ大会招致に際し、開催都市の環境づくりや大会施設の整備に寄与するとともに、それを契機とする「環境都市の創造」に、積極的な役割を果たしていくことを宣言します。

1. わたくしたちは、地球環境に配慮した都市環境整備や大会施設整備等に関する提言を行い、「スポーツと環境」をテーマとする大規模国際スポーツ大会の普及振興ならびに招致、開催の支援を行います。
2. わたくしたちは、国民のスポーツの振興とスポーツライフの向上を図るとともに、世界から集まるアスリートが、最高の環境の中でパフォーマンスを発揮し、またアスリートやビジターが快適に滞在できる都市環境づくりを推進します。
3. わたくしたちは、大規模国際スポーツ大会開催を契

機に、人に優しい交通体系の再生と創造、アーバンリゾート機能の強化、魅力的なオープンスペースの創出、快適な歩行空間の整備、美しい都市景観の形成等により、「国際環境都市モデル」の形成を図ります。

4. わたくしたちは、「緑」とのふれあいと「スポーツ」の実践を通して、豊かな心と文化を育むとともに、国際的なコミュニケーションを活発化し、良好な国際関係の構築を通して世界平和に貢献することを目指します。
5. わたくしたちは、緑とオープンスペースの環境づくりの専門家として、「スポーツと環境」について普及啓発や研究開発を行い、新しい時代のスポーツ振興と環境の創造に貢献します。

2006年5月24日

「スポーツと環境」シンポジウム 東京・有明にて
(社)ランドスケープコンサルタンツ協会関東支部

関西支部 “みどりの5団体合同フォーラム” 学生設計競技2006

平成18年度の学生設計競技は、わが国の住宅開発、ニュータウン計画を代表する千里ニュータウンの新千里北町団地を対象に、約5.7haの団地全体の緑とオープンスペースの今後のあり方と、団地内のプレイロット（約5000m²）をリニューアルする設計提案を課題として行った。設計

競技は平成18年7月に募集を開始し、11月20日の締め切りには、東は筑波大学から西は九州大学まで、14大学から総数33点の応募作品が集まった。そして、大阪府立大学大学院の増田昇教授を委員長とする6名の審査委員会の厳正な審査の結果、最優秀一点、優秀二点、入賞四点を選

出した。なお、みどりの5団体の年末交流会において行われた授賞式では、審査委員と学生との間で熱心な講評や質問が交わされ、造園設計や施工、施設業等に関わる大勢の方々との交流の場となった。



審査会風景



授賞式後の記念撮影

九州支部 設立25周年記念事業

九州支部は設立25周年の記念事業として、HP開設と記念シンポジウムを行った。記念シンポジウムは会員の技術発表とディスカッションを通して、会員相互の親睦を図るとともに、これからの業界の方向性を考える会とし、歴代支部長をお招きして開催した。主な発表は、パークマネジメントの観点から「指定管理者制度」「公園を活かした環境教育」、景観三法に関連した「景観とまちづくり」「ランドスケープVR」等、そ

れぞれに実践的な発表があった。その後のディスカッションでは、最近の課題であるパークマネジメントや景観に議論が集中した。また、「これを契機に夢のある提案を積極的に行っていこう」という、今後の活動への提案などもあり、有意義なディスカッションとなった。



シンポジウムを終えて懇親会

社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会会員名簿

◎：会長 ○：副会長 ◇：常任理事

| 正会員（五十音順） | | | | | |
|-------------------|--------------|---------|----------|----------------------------------|--------------|
| 会 員 名 | 電話番号 | 協会代表者 | 〒 | 所 在 地 | FAX 番号 |
| ㈱アーク造園設計事務所 | 03-5297-1055 | 岡田 藏 司 | 101-0043 | 千代田区神田富山町18 西川ビル | 03-5297-0003 |
| ㈱アース・ランドスケープ計画事務所 | 06-6261-8889 | 岡田 邦 彦 | 542-0081 | 大阪市中央区南船場2-7-16 同光ビル | 06-6261-8890 |
| ㈱アーバンデザインコンサルタンツ | 03-3353-1016 | 山口 隆 康 | 160-0022 | 新宿区新宿1-26-9 ビリーヴ新宿 | 03-3353-1018 |
| ㈱愛植物設計事務所 | 03-3291-3380 | 山本 紀 久 | 101-0064 | 千代田区猿楽町2-4-11 犬塚ビル | 03-3291-3381 |
| ㈱あい造園設計事務所 | 03-3325-6660 | ○細谷 恒 夫 | 168-0063 | 杉並区和泉3-46-9 YS 第一ビル | 03-3325-6262 |
| アジア航測(株) | 03-5379-2155 | 赤土 攻 | 160-0022 | 新宿区新宿4-2-18 新宿光風ビル | 03-5379-2156 |
| ㈱荒木造園設計 | 0727-61-8874 | 荒木 美 真 | 563-0024 | 池田市鉢塚2-10-11 | 0727-62-8234 |
| ㈱荒谷建設コンサルタンツ | 082-292-5481 | 矢野 順 也 | 730-0831 | 広島市中区江波西1-25-5 | 082-294-3575 |
| ㈱アルファ計画研究所 | 045-263-3091 | 熊井千代治 | 231-0065 | 横浜市中区宮川町3-83 イワサキビル | 045-263-3094 |
| ㈱飯沼コンサルタンツ | 052-451-3371 | ◇飯沼 忠 道 | 453-0803 | 名古屋市中村区長戸井町4-38 | 052-451-6813 |
| ㈱稲垣ランドスケープデザイン研究所 | 042-335-5671 | 稲垣 丈 夫 | 183-0027 | 府中市本町4-10-4 | 042-335-5695 |
| ㈱ウエスコ | 086-254-2433 | 永山 彰 | 700-0033 | 岡山市島田本町2-5-35 | 086-256-5161 |
| ㈱エーシーイー | 03-3952-3171 | 玉村 寿 秀 | 165-0024 | 中野区松が丘2-32-19 | 03-3952-3177 |
| ㈱エキープ・エスパス | 03-3407-4368 | 峰岸 久 雄 | 107-0062 | 港区南青山5-4-29 | 03-3407-4419 |
| ㈱エス・イー・エヌ環境計画室 | 06-6373-4117 | 三宅 祥 介 | 530-0014 | 大阪市北区鶴野町4-11-1106 | 06-6373-4617 |
| ㈱ LAU 公共施設研究所 | 03-3269-6711 | 山本 忠 順 | 162-0801 | 新宿区山吹町352-22 グローサユウ新宿 | 03-3269-6715 |
| ㈱大石造園設計事務所 | 03-5337-3885 | 大石憲治郎 | 169-0073 | 新宿区百人町1-16-21 ミナミビル | 03-5337-3905 |
| ㈱オオバ | 03-3460-0117 | 萩野 一 彦 | 153-0042 | 目黒区青葉台4-4-12-101 | 03-3460-1400 |
| ㈱オリエンタルコンサルタンツ | 03-6311-7857 | 宮内 和 則 | 150-0036 | 渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷 | 03-6311-8026 |
| ㈱環ヴィトーム | 097-534-1436 | 幡東 孝 則 | 870-0046 | 大分市荷揚町10-13 大分法曹ビル | 097-537-8578 |
| ㈱環境・グリーンエンジニア | 03-5209-3691 | 杉浦 力 | 101-0041 | 千代田区神田須田町2-6-5 OS'85ビル | 03-5209-3696 |
| ㈱環境事業計画研究所 | 075-703-7531 | 吉村 龍 二 | 606-8166 | 京都市左京区一乗寺庵野町33-1 | 075-703-7530 |
| 環境設計(株) | 06-6261-2144 | 井上 芳 治 | 541-0056 | 大阪市中央区久太郎町1-4-2 | 06-6261-2146 |
| ㈱環境設計研究室 | 03-3584-1251 | 川瀬 篤 美 | 107-0052 | 港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー本館11階 | 03-3584-1877 |
| ㈱環境デザイン研究所 | 03-5575-7171 | 中山 豊 | 106-0032 | 港区六本木5-12-22 永坂ビル | 03-5562-9928 |
| ㈱環境緑地設計研究所 | 078-392-1701 | 松下 慶 浩 | 650-0024 | 神戸市中央区海岸通2-2-3 サンエービル | 078-392-1576 |
| ㈱環研 | 03-3375-2531 | 近藤 寛 | 151-0071 | 渋谷区本町3-35-17 イマス・エス・イービル | 03-3375-2540 |
| ㈱環研究所 | 06-6306-2481 | 大石 博 | 532-0011 | 大阪市淀川区西中島6-8-20 花原第7ビル | 06-6303-8614 |
| キタイ設計(株) | 0748-46-4902 | 梶 雅 弘 | 521-1398 | 蒲生郡安土町上豊浦1030 | 0748-46-5620 |
| ㈱空間創研 | 075-353-6337 | ◇吉田 昌 弘 | 600-8239 | 京都市下京区東堀川通下魚ノ棚下る鐵屋町23番地 シンエイ堀川ビル | 075-353-6338 |
| ㈱空間文化開発機構 | 06-6229-0130 | 真鍋 建 男 | 541-0046 | 大阪市中央区平野町1-8-8 平野町安井ビル | 06-6229-1292 |
| ㈱グラック | 03-3249-3010 | 枝吉 茂 種 | 103-0004 | 中央区東日本橋3-6-17 山一織物ビル | 03-5645-7685 |
| ㈱ KRC | 026-285-7670 | 宮入賢一郎 | 381-2217 | 長野市稲里町中央3-33-23 | 026-254-7301 |
| ㈱景観設計研究所 | 06-6444-7701 | 山田 直 樹 | 550-0006 | 大阪市西区江之子島1-5-3 中央興業ビル | 06-6444-7731 |
| ㈱景観設計・東京 | 03-5435-1170 | 都田 徹 | 141-0031 | 品川区西五反田3-8-3 町原ビル | 03-5435-0909 |
| ㈱景観プランニング | 028-650-3030 | 阿久津佳央 | 320-0036 | 宇都宮市小幡1-3-16 | 028-650-3034 |
| ㈱国土開発センター | 076-233-5333 | 本多 貞 夫 | 920-0031 | 金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル | 076-233-5777 |
| サンキコンサルタンツ(株) | 03-5966-7211 | 横田 守 | 171-0051 | 豊島区長崎5-1-34 | 03-5966-7255 |
| サンコーコンサルタンツ(株) | 03-3683-7152 | 有賀 一 郎 | 136-8522 | 江東区亀戸1-8-9 | 03-3683-7116 |
| ㈱三洋設計 | 022-261-0479 | 嶋倉 正 明 | 980-0011 | 仙台市青葉区上杉1-8-17 | 022-262-6014 |
| ㈱シビックデザイン研究所 | 03-3226-9821 | 出来 正 典 | 160-0022 | 新宿区新宿1-13-11 シブヤビル | 03-3226-9815 |
| ㈱スペースビジョン研究所 | 06-6942-6569 | 宮前 保 子 | 540-0012 | 大阪市中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル | 06-6942-6897 |
| セントラルコンサルタンツ(株) | 03-5117-1067 | 進藤 郁 生 | 104-0042 | 中央区入船1-4-10 | 03-5117-1086 |
| ㈱ZEN 環境設計 | 092-643-5500 | ◇中村 久 二 | 812-0053 | 福岡市東区箱崎1-32-40 | 092-643-5520 |
| ㈱爽環境計画 | 03-3829-4691 | 木村 隆 | 130-0013 | 墨田区錦糸3-7-11 メゾン・ド・ファミリー | 03-3829-4692 |
| ㈱創建 | 052-682-3848 | 井上 忠 佳 | 456-0018 | 名古屋市熱田区新尾頭1-10-1 | 052-682-3015 |
| ㈱総合計画機構 | 06-6942-1877 | ◇糸谷 正 俊 | 540-0012 | 大阪市中央区谷町2-2-22 NSビル | 06-6942-2447 |
| ㈱総合設計研究所 | 03-3263-5954 | 木村 弘 | 102-0072 | 千代田区飯田橋4-9-4 飯田橋ビル1号館 | 03-3263-7996 |
| ㈱綜合庭園研究室 | 03-3300-1524 | 中島 寛 久 | 182-0003 | 調布市若葉町1-35-5 フォレストヒルズ仙川 | 03-3300-4749 |
| 創和エクステリヤ(株) | 045-662-8028 | 風間 伸 造 | 231-0014 | 横浜市中区常盤町2-11 大宗トキワビル | 045-662-8664 |

| 会 員 名 | 電話番号 | 協会代表者 | 〒 | 所 在 地 | FAX 番号 |
|--------------------|--------------|-------|----------|-----------------------------|--------------|
| 第一復建(株) | 092-575-1047 | 畠山美久 | 816-0094 | 福岡市博多区諸岡1-7-25 | 092-575-1673 |
| (株)大揮環境計画事務所 | 096-365-1745 | 平嶋孝 | 861-8043 | 熊本市戸島西1-29-66 | 096-365-6533 |
| 大日本コンサルタント(株) | 0489-88-8119 | 伝谷恵一 | 343-0851 | 越谷市七左町5-1 | 0489-88-3115 |
| 高野ランドスケーププランニング(株) | 0155-42-3181 | 金清典広 | 080-0344 | 河東郡音更町字万年西1線37番地 旧チンネル小学校 | 0155-42-3863 |
| (株)タナカ総合環境設計 | 0956-22-5665 | 田中省二 | 857-0876 | 佐世保市塩浜町7-11 TNK ビル | 0956-23-8218 |
| 玉野総合コンサルタント(株) | 052-979-9111 | 田部井伸夫 | 461-0005 | 名古屋市東区東桜2-17-14 新栄町ビル | 052-979-9112 |
| (株)タム地域環境研究所 | 03-5345-5745 | 秋山寛 | 165-0026 | 中野区新井2-30-4 IFO ビル | 03-5345-5747 |
| (株)地域計画建築研究所 | 06-6942-5732 | 中川天晃 | 540-0001 | 大阪市中央区城見1-4-70 住友生命OBPプラザビル | 06-6941-7478 |
| (株)地球号 | 06-6945-7566 | 中見哲 | 540-0031 | 大阪市中央区北浜東6-6 アクアタワー | 06-6945-7595 |
| 中央コンサルタンツ(株) | 052-551-2541 | 藤本博史 | 451-0042 | 名古屋市西区那古野2-11-23 | 052-551-2540 |
| 中電技術コンサルタント(株) | 082-256-3357 | 菊原伴幸 | 734-8510 | 広島市南区出汐2-3-30 | 082-254-0661 |
| (株)東京ランドスケープ研究所 | 03-5292-2512 | 小林治人 | 160-0021 | 新宿区歌舞伎町2-4-10 日石住生新宿ビル | 03-5292-2514 |
| 東武計画(株) | 03-3986-1871 | 長尾和守 | 170-0013 | 豊島区東池袋2-18-7 石川ビル | 03-3980-1043 |
| (株)ドーコン | 011-801-1535 | 大塚英典 | 004-8585 | 札幌市厚別区厚別中央1条5-4-1 | 011-801-1536 |
| (株)都市環境ランドスケープ | 06-6946-9588 | 長谷川弘直 | 540-0034 | 大阪市中央区島町2-4-9 島町第二野村ビル | 06-6946-9747 |
| (株)都市計画研究所 | 03-3669-8821 | 佐藤憲璋 | 103-0014 | 中央区日本橋蛸殻町2-13-5 美濃友ビル | 03-3669-8924 |
| (株)トデック | 03-5638-2176 | 越智常博 | 135-0007 | 江東区新大橋1-8-11 三井生命新大橋ビル | 03-5638-2168 |
| (株)ナカタ空間企画 | 06-6930-4890 | 中田政廣 | 536-0015 | 大阪市城東区新喜多1-2-17-104 | 06-6930-4896 |
| 中日本建設コンサルタント(株) | 052-232-6032 | 中西秀伸 | 460-0003 | 名古屋市中区錦1-8-6 | 052-221-7827 |
| (株)中根庭園研究所 | 075-465-2373 | 中根史郎 | 616-8013 | 京都市右京区谷口唐田ノ内町1-6 | 075-465-2374 |
| (株)虹設計事務所 | 03-3419-7259 | 光益尚登 | 154-0023 | 世田谷区若林1-1-18 | 03-3419-7246 |
| (株)日水コン | 03-5323-6200 | 田原芳郎 | 163-1122 | 新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー | 03-5323-6480 |
| (株)日本海コンサルタント | 076-243-8258 | 大脇豊 | 921-8042 | 金沢市泉本町2-126 | 076-243-0887 |
| 日本技術開発(株) | 03-5385-5111 | 川尻幸由 | 164-8601 | 中野区本町5-33-11 中野清水ビル | 03-5341-8525 |
| (株)日本総合計画研究所 | 03-3254-9668 | 星野嘉郎 | 101-0047 | 千代田区内神田3-2-1 栄ビル | 03-3254-6714 |
| (株)ニュージェック | 06-6374-4032 | 出口直彦 | 531-0074 | 大阪市北区本庄東2-3-20 | 06-6374-5147 |
| パシフィックコンサルタンツ(株) | 042-372-6530 | 佐野秀樹 | 206-8550 | 多摩市関戸1-7-5 | 042-372-6349 |
| (株)フジランドスケープ | 03-5719-2919 | ◇新井豊 | 141-0031 | 品川区西五反田3-8-17 宮野沢ビル302 | 03-6410-8135 |
| (株)復建技術コンサルタント | 022-262-1234 | ◇岩淵善弘 | 980-0012 | 仙台市青葉区錦町1-7-25 | 022-265-9309 |
| 復建調査設計(株) | 082-506-1853 | 真鍋章良 | 732-0052 | 広島市東区光町2-10-11 | 082-506-1890 |
| (株)ブレック研究所 | 03-5226-1101 | 黛卓郎 | 102-0083 | 千代田区麴町3-7-6 麴町 PREC ビル | 03-5226-1112 |
| (株)ヘッズ | 06-6373-9369 | ◎大塚守康 | 530-0022 | 大阪市北区浪花町12-24 創建天六ビル | 06-6373-9370 |
| 北海道造園設計(株) | 011-758-2261 | ◇及川涉 | 060-0807 | 札幌市北区北7条西2-6 山京ビル | 011-709-5341 |
| (株)ポリテック・エイディディ | 03-3456-3013 | 徳丸秀夫 | 105-0014 | 港区芝1-5-12 TOP 浜松町ビル | 03-3456-3015 |
| (株)三菱地所設計 | 03-3287-5750 | 深尾周一 | 100-0005 | 千代田区丸の内3-2-3 富士ビル | 03-3287-3230 |
| (株)緑設計 | 0188-62-4263 | 板垣清美 | 010-0973 | 秋田市八橋本町4-10-26 | 0188-62-4273 |
| (株)緑の風景計画 | 03-3422-9511 | 福添隆二 | 154-0012 | 世田谷区駒沢2-6-16 | 03-3422-9530 |
| (株)森緑地設計事務所 | 03-3585-8361 | 藤内誠一 | 106-0044 | 港区東麻布1-4-3 木内第2ビル | 03-3582-2758 |
| (株)和計画コンサルタント | 03-3374-2227 | 鈴木司 | 151-0071 | 渋谷区本町5-42-10 第2富喜マンション | 03-3374-2559 |
| (株)UR リンケージ | 03-6214-5740 | 長瀬靖 | 103-0027 | 中央区日本橋1-5-3 日本橋西川ビル | 03-3272-6017 |
| (株)ライフ計画事務所 | 03-5626-4741 | 鍵山喜昭 | 136-0071 | 江東区亀戸2-36-12 | 03-5626-4740 |
| (株)LAT | 082-273-2605 | 山木靖雄 | 733-0821 | 広島市西区庚午北2-1-4 | 082-271-2230 |
| (株)ランズ計画研究所 | 045-322-0581 | 川島保 | 220-0004 | 横浜市西区北幸2-10-27 東武立野ビル | 045-322-0719 |
| (株)ランテック計画事務所 | 06-6945-0065 | 中尾幸彦 | 540-0031 | 大阪市中央区北浜東2-18 堀川ビル | 06-6945-0124 |
| (株)リアライズ造園設計事務所 | 06-6941-1151 | 新井英光 | 540-0038 | 大阪市中央区内淡路町2-1-7 | 06-6941-1154 |
| (株)緑景 | 06-6763-7167 | 瀬川勝之 | 542-0064 | 大阪市中央区上汐1-4-6 吉井ビル | 06-6765-5599 |
| (株)緑生研究所 | 042-499-7211 | ◇井上康平 | 182-0026 | 調布市小島町2-40-10 桐生ビル | 042-487-4334 |
| 準会員 (五十音順) | | | | | |
| (株)エコシビルデザイン | 03-5362-3701 | 上村央 | 160-0016 | 新宿区信濃町11-3 AK 信濃町ビル | 03-5362-3702 |
| (株)エコル | 03-5791-2901 | 庄司悦雄 | 108-0074 | 港区高輪3-4-1 高輪階成ビル | 03-5791-2902 |
| 扇精光(株) | 095-839-2111 | 池田正志 | 851-0134 | 長崎市田中町585-4 | 095-839-2311 |
| (株)環境緑地研究所 | 011-221-4101 | 小川興司 | 060-0004 | 札幌市中央区北4条西6-1-1 毎日札幌会館 | 011-221-4237 |
| (株)景環技術 | 03-5804-4561 | 丸田晴男 | 113-0033 | 文京区本郷1-15-2 第1三沢ビル | 03-5804-4563 |

| 会 員 名 | 電話番号 | 協会代表者 | 〒 | 所 在 地 | FAX 番号 |
|------------------------|--------------|-----------|----------|---------------------------|--------------|
| (株)現代ランドスケープ | 06-6949-3535 | 西 辻 俊 明 | 540-0037 | 大阪市中央区内平野町1-3-1 川口ビル | 06-6949-3536 |
| (株)サイプレス・ランドスケーププランニング | 011-881-5123 | 中 村 圭 吾 | 004-0862 | 札幌市清田区北 2 条 2-71-5 | 011-881-5201 |
| (株)シビテック | 011-816-3001 | 笹 浪 徹 也 | 003-0002 | 札幌市白石区東札幌 2 条 5-8-1 | 011-816-2561 |
| (株)シャトーシーピー | 0268-62-3255 | 細 谷 順 義 | 389-0502 | 東御市鞍掛383-9 | 0268-62-3256 |
| (株)スタジオアーバンスペースアート | 06-6845-9671 | 柳 原 壽 夫 | 560-0041 | 豊中市清風荘1-5-1 関西地販 | 06-6845-9672 |
| (株)セット設計事務所 | 042-324-0724 | 池田与志雄 | 185-0012 | 国分寺市本町2-16-4 | 042-324-3468 |
| グイシン設計(株) | 011-222-2325 | 関 利 洋 | 060-0005 | 札幌市中央区北 5 条西6-1-23 | 011-222-9103 |
| (株)塚原緑地研究所 | 043-279-8005 | 塚 原 道 夫 | 261-0011 | 千葉市美浜区真砂3-3-7 | 043-279-8142 |
| (株)辻本智子環境デザイン研究所 | 0799-72-0216 | 辻 本 智 子 | 656-2401 | 淡路市岩屋3000-176 | 0799-72-0217 |
| (株)東京建設コンサルタント | 03-5980-2633 | 和 田 淳 | 107-0004 | 豊島区北大塚1-15-6 | 03-5980-2601 |
| (株)都市ランドスケープ | 03-5269-8982 | 内藤英四郎 | 162-0065 | 新宿区住吉町5-7 曙橋ハイム鍋倉 | 03-5269-8982 |
| (株)都市・景観設計 | 06-6228-3388 | 奥 村 信 一 | 541-0041 | 大阪市中央区北浜1-1-21 第 2 中井ビル | 06-6228-3387 |
| (株)戸田芳樹風景計画 | 03-3320-8601 | 戸 田 芳 樹 | 151-0053 | 渋谷区代々木1-36-1 ミユキビル | 03-3320-8610 |
| (株)ライヴ環境計画 | 011-204-7922 | 有 山 忠 男 | 060-0042 | 札幌市中央区大通西14-1-13 北日本南大通ビル | 011-204-7955 |
| (株)ランドスケープ・コア | 092-541-8845 | 田 中 信 敏 | 815-0033 | 福岡市南区大橋2-2-1 マルイビル | 092-541-8885 |
| 琉球建設コンサルタント(株) | 098-879-7147 | 天 野 哲 彦 | 901-2132 | 浦添市伊祖1-32-8 琉球ビル | 098-879-7146 |
| (株)緑住環境計画 | 042-525-4560 | 松岡二三夫 | 190-0023 | 立川市柴崎町3-10-10 TY ビル立川 | 042-525-4561 |
| (株)緑政計画研究所 | 03-3265-8482 | 飯 塚 良 一 | 101-0065 | 千代田区西神田2-4-1 東方学会新館 | 03-3265-8483 |
| 賛助会員 (五十音順) | | | | | |
| アゴラ造園(株) | 03-3997-2108 | 高橋正之輔 | 179-0075 | 練馬区高松6-2-18 | 03-3997-2252 |
| (株)アボックス | 0467-45-5119 | 長 尾 重 虎 | 247-0056 | 鎌倉市大船2-14-13 | 0467-45-6591 |
| 荒木窯業(株) | 0942-27-3231 | 福 山 茂 | 830-0063 | 久留米市荒木町荒木823 | 0942-27-3234 |
| 石黒体育施設(株) | 052-757-4030 | 石 黒 柳 三 | 464-0848 | 名古屋市千種区春岡2-27-18 | 052-763-8110 |
| (株)ウォーターデザイン | 03-3431-8070 | 大根川 孝 | 105-0004 | 港区新橋6-9-2 新橋第一ビル | 03-3431-8116 |
| 内田工業(株) | 052-352-1811 | 内 田 裕 郎 | 454-0825 | 名古屋市中川区好本町3-67 | 052-351-1326 |
| 内山緑地建設(株)東京支社 | 03-3523-1140 | 村 山 和 義 | 104-0032 | 中央区八丁堀2-11-7 MC 八丁堀ビル | 03-3523-1138 |
| (株)岡部 | 0764-41-4651 | 竹 中 祐 利 | 930-0026 | 富山市八人町6-2 | 0764-31-6340 |
| 奥アンソーカ(株) | 06-6244-0540 | 桑 田 篤 人 | 541-0059 | 大阪市中央区博労町4-5-3 | 06-6244-0509 |
| 海水化学工業(株) | 0835-22-4787 | 常 森 喬 紀 | 747-0833 | 防府市大字浜方535番地 | 0835-22-1175 |
| 上屋敷工業(株) | 0776-56-2310 | 上屋敷淳三 | 910-0122 | 福井市石盛町20-408 | 0776-56-0917 |
| 共立金属工業(株) | 06-6304-1271 | 菅 野 正 道 | 532-0011 | 大阪市淀川区西中島4-2-21 | 06-6305-1229 |
| 近鉄造園土木(株) | 06-6635-3317 | 長 尾 輝 治 | 542-0076 | 大阪市中央区難波4-1-15 | 06-6635-3325 |
| 小岩金網(株) | 03-5828-7691 | 島 倉 邦 彦 | 111-0035 | 台東区西浅草3-20-14 JNT ビル | 03-5828-7687 |
| (株)コトブキ タウンスケープ営業本部 | 03-5280-5400 | 上野山直樹 | 101-0062 | 千代田区神田駿河台1-2-1 | 03-5280-5768 |
| (株)ザイエンス 営業本部 | 03-3284-0501 | 小 山 幹 雄 | 101-0044 | 千代田区鍛冶町1-9-4 KYY ビル | 03-3284-0504 |
| (株)サカエ | 0422-47-5981 | 栗 田 嘉 嗣 | 181-0004 | 三鷹市新川4-7-19 | 0422-49-2122 |
| (株)サトミ産業 | 0258-35-3005 | 佐 藤 勉 | 940-0864 | 長岡市川崎5-495 | 0258-34-2513 |
| (株)三英 景観事業部 | 04-7153-3141 | 尾 山 弘 善 | 270-0133 | 流山市十太夫108-1 | 04-7153-3146 |
| (株)三榮企業 | 042-386-8760 | 長 嶋 孝 衛 | 184-0014 | 小金井市貫井南町4-11-36 | 042-386-8761 |
| (株)サンエス | 042-564-1021 | 横 倉 登 | 207-0022 | 東大和市桜が丘4-322 | 042-565-7239 |
| (株)ジオスケープ | 03-3588-5990 | 須 田 清 隆 | 105-0001 | 港区虎ノ門2-2-5 | 03-3588-5991 |
| 西武造園(株) | 03-3989-2751 | 安 藤 義 之 | 171-0022 | 豊島区南池袋1-16-15 西武鉄道池袋ビル | 03-3989-2795 |
| 泉陽興業(株) | 06-6632-1051 | 糸 井 雅 明 | 556-0016 | 大阪市浪速区元町1-8-15 | 06-6632-1060 |
| 大永ドリーム(株) | 027-269-6084 | 永 島 勝 治 | 371-0131 | 前橋市鳥取町158-7 | 027-269-6086 |
| 太陽工業(株) 空間デザインカンパニー | 03-3714-3461 | 坂 手 素 行 | 153-0043 | 目黒区東山3-16-19 | 03-3791-7731 |
| タカオ(株) | 0849-55-1275 | 高 尾 典 秀 | 720-0004 | 福山市御幸町中津原1787-1 | 0849-55-2481 |
| (株)立山エンジニアリング | 03-3449-6831 | 岩 撫 徳 昭 | 141-0022 | 品川区東五反田1-8-12 小原サンデンビル | 03-3449-6837 |
| チッソ旭肥料(株) | 03-3814-6316 | 伊 賀 崎 保 | 112-0004 | 文京区後楽1-7-12 林友ビル | 03-3814-6327 |
| テック大洋工業(株) | 03-5703-1441 | 飯 田 博 之 | 144-0052 | 大田区蒲田4-22-8 | 03-5703-1444 |
| 東亜道路工業(株) | 03-3405-1813 | 植 田 雅 晴 | 106-0032 | 港区六本木7-3-7 | 03-3405-4210 |
| (株)東海遊具製作所 | 0583-71-1001 | 中 嶋 三 千 男 | 504-0928 | 各務原市山脇町3-2 | 0583-82-3815 |
| トースイ(株) | 03-5276-1101 | 星 野 弘 壽 | 102-0093 | 千代田区平河町1-7-7 | 03-5276-1117 |
| 東邦レオ(株) | 06-6767-1110 | 木 田 幸 男 | 540-0005 | 大阪市中央区上町1-1-28 | 06-6767-1263 |
| トーヨーマテラン(株) | 0568-88-7080 | 池 上 英 雄 | 480-0303 | 春日井市明知町1512 | 0568-88-3370 |

| 会 員 名 | 電話番号 | 協会代表者 | 〒 | 所 在 地 | FAX 番号 |
|--------------|--------------|---------|----------|------------------------|--------------|
| 中村シラトリ(株) | 0543-35-6271 | 石田 勝 若 | 424-0911 | 静岡市清水区宮加三660番地 | 0543-35-6273 |
| (株)中村製作所 | 047-330-1111 | 朝 倉 辰 夫 | 271-0093 | 松戸市小山510 | 047-330-1119 |
| (株)ナベシマ | 093-617-3039 | 鍋 島 康 夫 | 807-1262 | 北九州市八幡西区野面1101-1 | 093-617-3040 |
| 日都産業(株) | 03-5397-0210 | 結 城 健 治 | 167-0053 | 杉並区西荻南1-1-9 | 03-5397-0631 |
| 日本興業(株) | 087-894-1022 | 多 田 綾 夫 | 769-2101 | さぬき市志度4614-13 | 087-894-0603 |
| 日本体育施設(株) | 03-5337-2616 | 奥 裕 之 | 164-0003 | 中野区東中野3-20-10 ケイエム中野ビル | 03-5337-2610 |
| (有)パーク総合デザイン | 075-343-4436 | 松 原 法 昭 | 600-8357 | 京都市下京区猪熊通5条下る柿本町595-28 | 075-343-4870 |
| 長谷川体育施設(株) | 03-3422-5331 | 花 田 隆 | 154-0004 | 世田谷区太子堂1-4-21 | 03-3412-8415 |
| (株)日比谷アメニス | 03-3453-2401 | 奥 本 寛 | 108-0073 | 港区三田4-7-27 | 03-3453-2426 |
| 福原商事(株) | 048-252-3351 | 福 原 精 | 332-0021 | 川口市西川口3-23-14 | 048-252-0600 |
| (株)富士植木 | 03-3265-6731 | 成 家 次 男 | 102-0074 | 千代田区九段南4-1-9 | 03-3265-3031 |
| 北三(株) | 03-3521-2111 | 大 関 利 之 | 136-0082 | 江東区新木場1-7-6 | 03-3521-6644 |
| (株)ホクショウ | 0956-48-8102 | 岩 崎 英 喜 | 858-0907 | 佐世保市棚方町221-2 | 0956-48-8111 |
| (株)丸山製作所 | 03-3637-4340 | 丸 山 智 正 | 136-0071 | 江東区亀戸7-5-1 | 03-3683-7553 |
| (株)みぞい | 022-255-9770 | 溝 井 敏 男 | 983-0821 | 仙台市宮城野区岩切字畑中5-9 | 022-255-5546 |

期待に応えて増刷しました！

景観とは何か、 ランドスケープとは何か——。

文化が薫る情感豊かな「美しい国、日本」をつくりだす待望の一冊。
景観・まちづくりに関わる多くの人々に必須・必携！

「景観法」の制定以来、多くの分野で景観に関する議論が繰り返されているが、では、景観づくりをその職能の柱とするランドスケープアーキテクトは、これまで何を考え、どんな景観を創り上げてきたのか。本書は「美しい景観」「美しい国土」そして今日の大きなキーワードである「美しい国、日本」を創造するための視座、方法論、哲学を55の事例をもとに写真と図表を多用し、カラー構成で紹介・掲載した。専門家をはじめ行政、NPO、市民まで、景観を考えるさまざまな人々が貴重な示唆を受ける格好の書籍。

●主要目次●

第1章

座談会：美しい景観・まちづくりに関するランドスケープアーキテクトの役割
中村良夫・進士五十八・中瀬 勲・藤吉信之・大塚守康、
司会：高橋信行

第2章

美しい景観・まちづくりに役立つ景観事例

1. 景観計画の事例14事例
(1)圏域レベル、(2)広域レベル、(3)市域レベル、(4)地区レベル、
(5)プロジェクトレベル
2. 景観整備の事例41事例
(1)都心、(2)住宅地、(3)工業団地・研究都市、(4)田園・農村・
里山、(5) 歴史・風土、(6)道路・街路、(7)河川・湖沼・湿地、
(8)港湾・海岸、(9)駅前、(10)その他



A4版/約180ページ/カラー/
定価4,286円+税
環境コミュニケーションズ刊

編集：社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会
発行：株式会社環境コミュニケーションズ
〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7-244
電話 03-3404-5714 FAX 03-3404-5716
www.kankyocoms.co.jp

2007年RLA資格認定試験 合格者受験番号一覧

セクション1 合格者受験番号

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 30002 | 30010 | 30017 | 30022 | 30028 | 31001 | 31014 | 60010 | 60017 | 61023 |
| 30003 | 30012 | 30018 | 30024 | 30029 | 31002 | 60001 | 60011 | 60018 | 61024 |
| 30005 | 30013 | 30019 | 30025 | 30030 | 31003 | 60002 | 60013 | 60019 | |
| 30008 | 30014 | 30020 | 30026 | 30031 | 31011 | 60005 | 60014 | 60021 | |
| 30009 | 30015 | 30021 | 30027 | 30034 | 31013 | 60007 | 60016 | 61022 | |

セクション2 合格者受験番号

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 30002 | 30013 | 30020 | 30027 | 31003 | 31009 | 31021 | 31028 | 60007 | 61012 |
| 30005 | 30015 | 30021 | 30028 | 31004 | 31010 | 31022 | 31029 | 60012 | 61014 |
| 30009 | 30017 | 30022 | 30030 | 31005 | 31011 | 31024 | 31032 | 60017 | 61020 |
| 30010 | 30018 | 30024 | 30036 | 31006 | 31013 | 31026 | 60002 | 60021 | |
| 30011 | 30019 | 30026 | 31002 | 31008 | 31019 | 31027 | 60005 | 61001 | |

セクション3 合格者受験番号

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 30002 | 30012 | 30018 | 30025 | 30032 | 31017 | 60003 | 60011 | 60019 | 61010 |
| 30005 | 30013 | 30019 | 30026 | 30034 | 31018 | 60005 | 60013 | 60020 | 61012 |
| 30006 | 30014 | 30020 | 30027 | 30036 | 31019 | 60006 | 60014 | 60021 | |
| 30008 | 30015 | 30021 | 30028 | 31014 | 31053 | 60007 | 60016 | 61007 | |
| 30009 | 30016 | 30022 | 30029 | 31015 | 60001 | 60009 | 60017 | 61008 | |
| 30010 | 30017 | 30024 | 30030 | 31016 | 60002 | 60010 | 60018 | 61009 | |

セクション4 合格者受験番号

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 30002 | 30013 | 30021 | 30036 | 31019 | 31030 | 31036 | 31047 | 60002 | 60021 | 61009 |
| 30006 | 30015 | 30022 | 31011 | 31023 | 31032 | 31039 | 31048 | 60005 | 61002 | 61014 |
| 30009 | 30017 | 30024 | 31014 | 31024 | 31033 | 31041 | 31050 | 60013 | 61004 | 61020 |
| 30011 | 30018 | 30028 | 31016 | 31026 | 31034 | 31042 | 31051 | 60016 | 61005 | 61021 |
| 30012 | 30020 | 30032 | 31017 | 31029 | 31035 | 31043 | 31052 | 60017 | 61008 | 61024 |

〈編集後記〉

Google マップで遊んでみました。東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ、ベルリンの同スケールの航空写真を並べて眺めてみました。

まず、それぞれを見比べての第一印象は、東京の緑が少ないこと。画面の大半がグレー。これは一人当たりの公園面積がどうこうという話ではありません。

次いで目に付くのは、まとまった緑が少ないこと。数が少ないのもそうだけれど、皇居、明治神宮、新宿御苑、東宮御所などのまとまった緑もその面

積は他の都市のまとまった緑よりも小さいのです。

そして、なんといっても東京が他の都市と大きく違うところは、エッジ(緑)が無いのです。他の都市は都市の外縁部に緑があるのに対して、東京にはそれが無い。想像はしていたがここまで見事に違うとは……。

ランドスケープアーキテクトの皆さんも、是非一度やってみて欲しい。これを目の当たりにして何も感じなければ、転職を考えた方がいいかもしれない。(笑)

(○)

2007 No. 165

CLA journal

再生紙を使用しています。

発行日 ● 2007年12月15日

発行人 ● 大塚守康

編集 ● 社ランドスケープコンサルタンツ協会
広報委員会

発行所 ● 社ランドスケープコンサルタンツ協会
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7
一番町村上ビル

TEL 03-3237-7371 FAX 03-3239-7610
<http://www.cla.or.jp>



ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.cla.or.jp>